

令和 6 年度江差マース 運行実績



×



令和 7 年 3 月 10 日

令和 6 年度第 4 回江差町地域公共交通活性化協議会



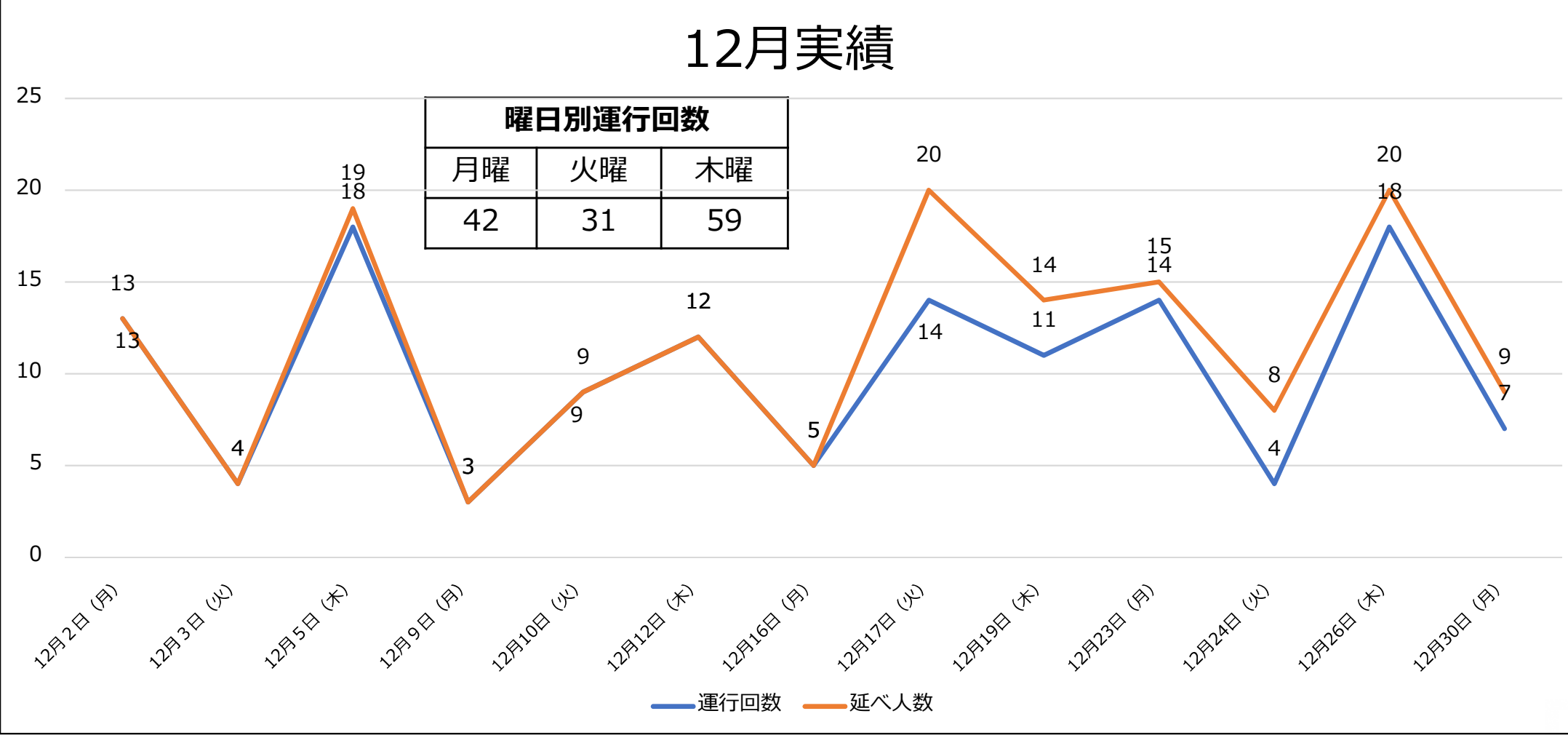
○運行実績

	令和6年度 (8～11月)	令和6年度 (8～2月)	令和5年度 (11～2月)
運行日数	44日間	82日間	68日間
運行回数	418回	770回	566回
乗車延べ人数	464人	881人	660人
平均乗車人数 (1日あたり)	<u>10.5人/日</u>	<u>10.7人/日</u>	<u>9.7人/日</u>
乗合発生率	32.8%	38.6%	38.96%
LINE予約率	24%	27%	41%
電話予約率	76%	73%	59%
利用者男女比	18.8：81.2	22.2：77.8	27.5：72.5
登録者	338人	373人	221人

○前回協議会時や実証実験時と比較し、1日あたり平均乗車人数は増加しており、江差町地域公共交通計画にて、目標値として設定している1日あたり10人乗車を達成
○前回協議会時から、乗合発生率が増加し、前年度並みに推移(32.8%→38.6%)

○12月

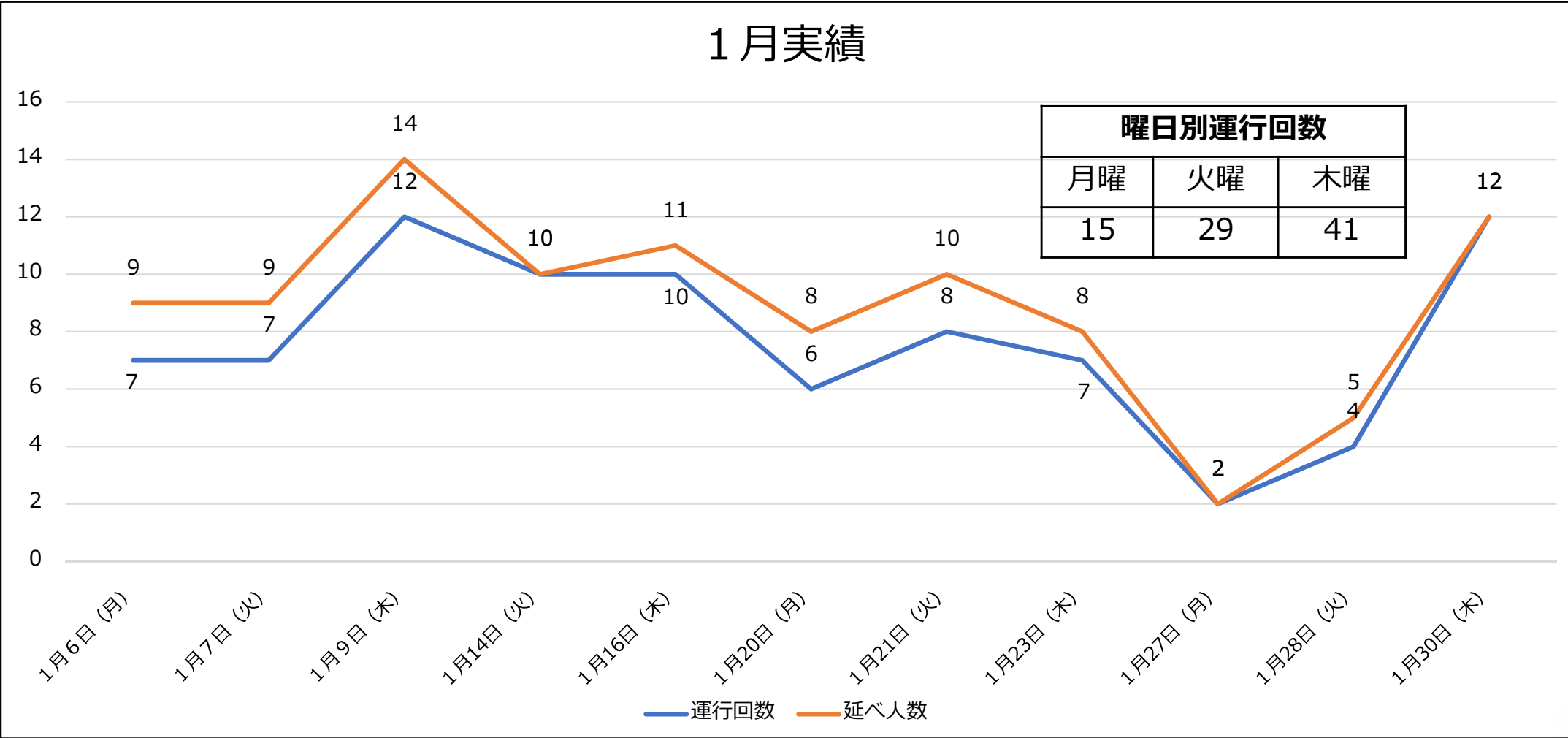
- ・ 運行日数：**13日** ・ 運行回数：**132回** ・ 乗車延べ人数：**151人**
- ・ 1日あたり平均乗車人数：**11.615人** ※R5有償運行時：8.2人
- ・ 乗合発生率：**45.5%** ・ LINE予約：**34件** ・ 電話予約：**98件**





○1月

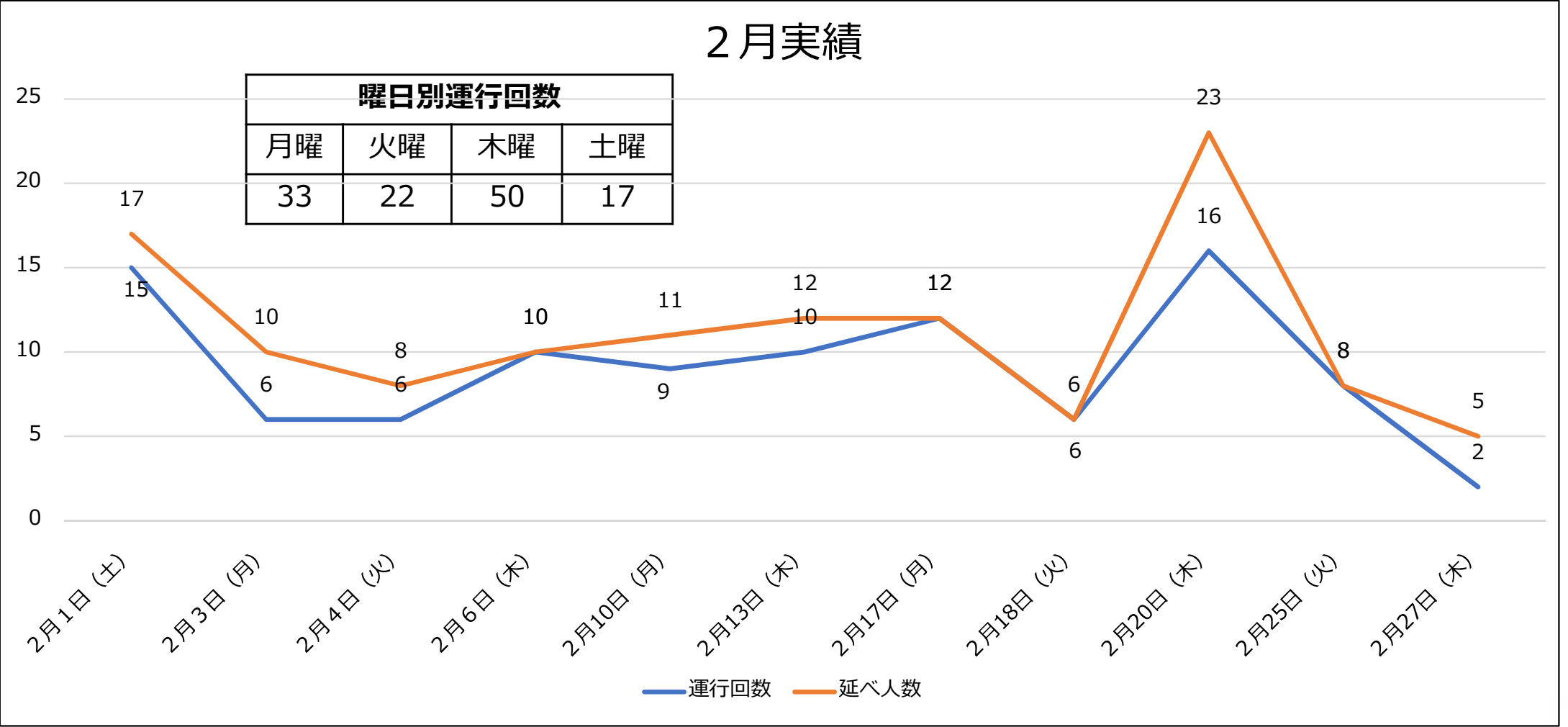
- ・ 運行日数：11日 ・ 運行回数：85回 ・ 乗車延べ人数：98人
- ・ 1日あたり平均乗車人数：8.909人 ※R5有償運行時：8.2人
- ・ 乗合発生率：43.5% ・ LINE予約：21件 ・ 電話予約：64件





○ 2 月

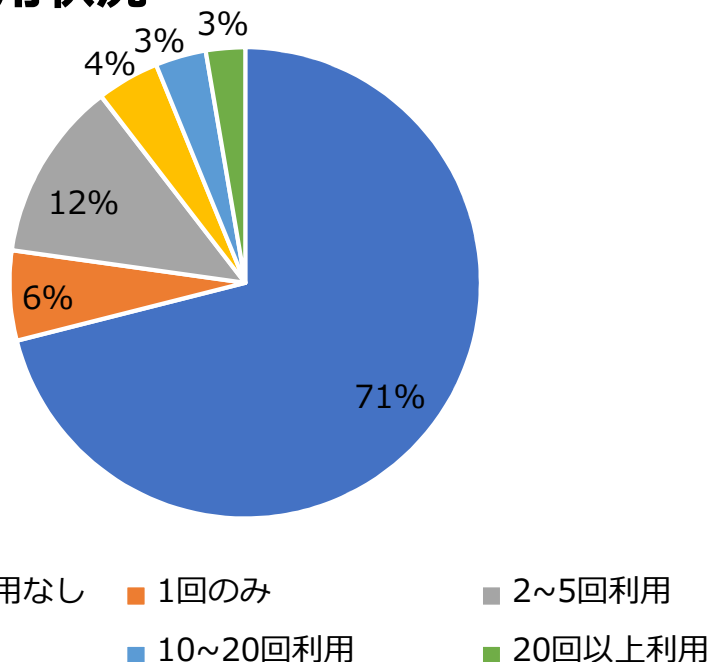
- ・ 運行日数：11日 ・ 運行回数：100回 ・ 乗車延べ人数：122人
- ・ 1 日あたり平均乗車人数：11.09人 ※R5有償運行時：8.2人
- ・ 乗合発生率：48.0% ・ LINE予約：43件 ・ 電話予約：57件



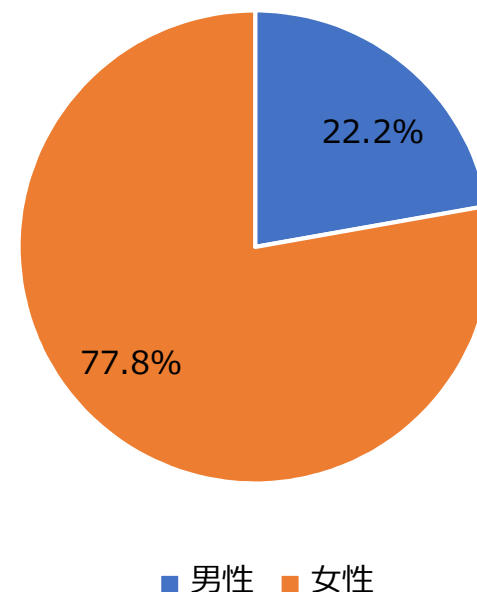


○登録者・利用者状況

登録者の利用状況



利用者の男女比



- 登録者数：373人（2月27日時点）
- 実利用者数：108人（29%） ※同乗者除く
- 男性利用者数：24人（22.2%）
- 女性利用者数：84人（77.8%）

○前回協議会時から、登録はしたものの利用したことがない人の割合が減少（79%→71%）

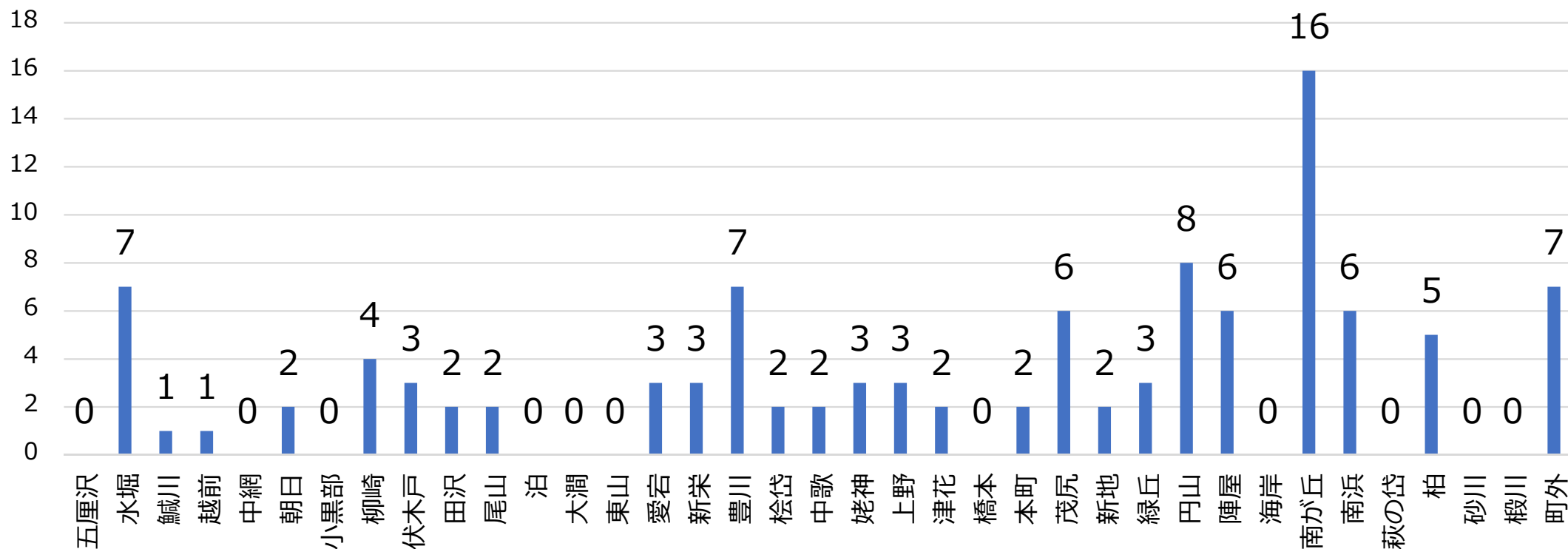
○利用者のうち、約80%の方が、複数回の利用（リピーター）があった。

○引き続き女性比率が高く、自家用車や運転免許のない住民による利用が多いと推察



○登録者・利用者状況

居住地別利用者数



※実利用者数 108人

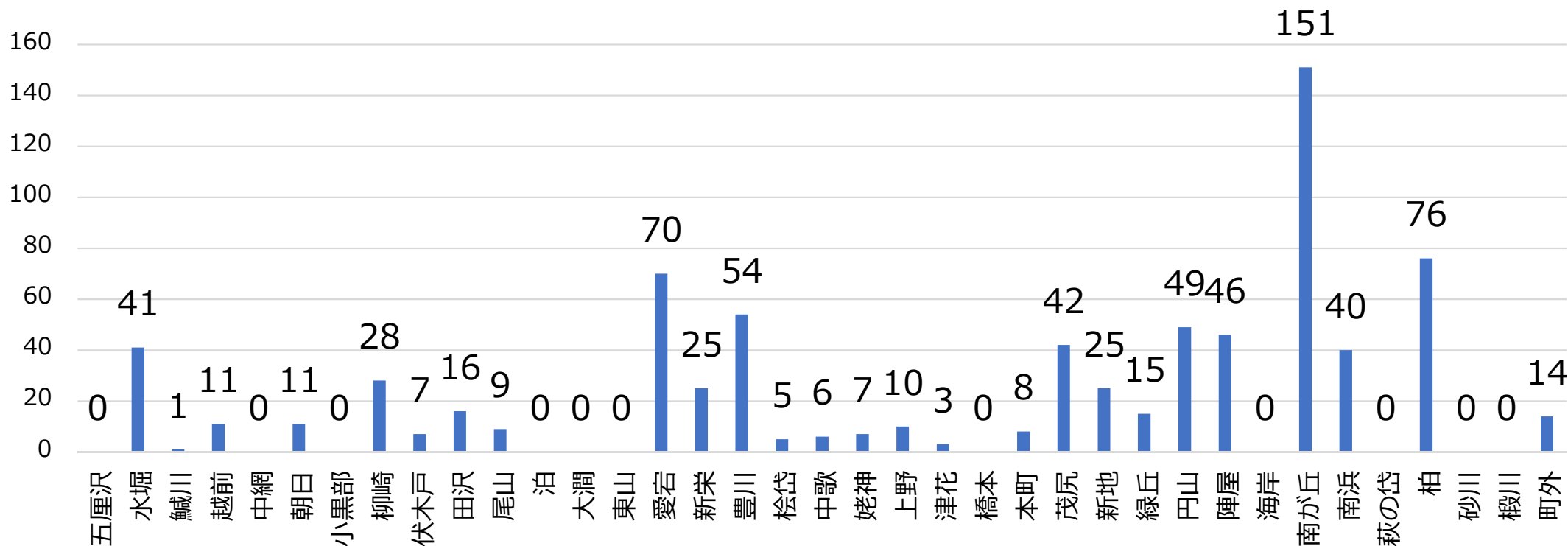
○南が丘に居住する住民の利用が圧倒的に多かった。同地域では、複数の利用者が同一の時間、目的地に予約をし、乗り合いで移動するというケースも複数回あった。

○居住人口規模に違いはあるものの、利用された方がいない地域が11地域（全36地域）という結果になった。



○登録者・利用者状況

居住地別利用回数



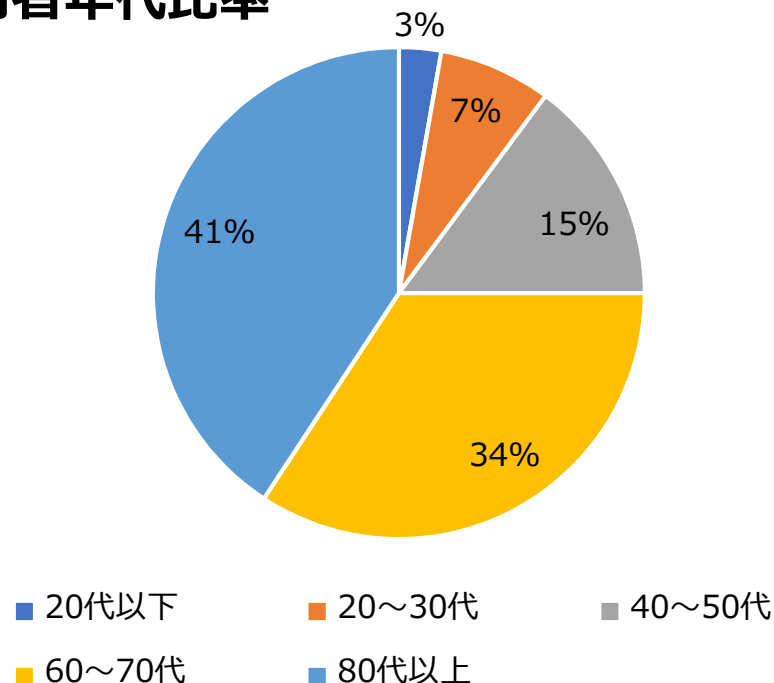
※運行回数 770回

- 南が丘に居住する住民の利用が圧倒的に多かった。同地域では、複数の利用者が同一の時間、目的地に予約をし、乗り合いで移動するというケースも複数回あった。
- 居住人口規模に違いはあるものの、利用された方がいない地域が11地域（全36地域）という結果になった。

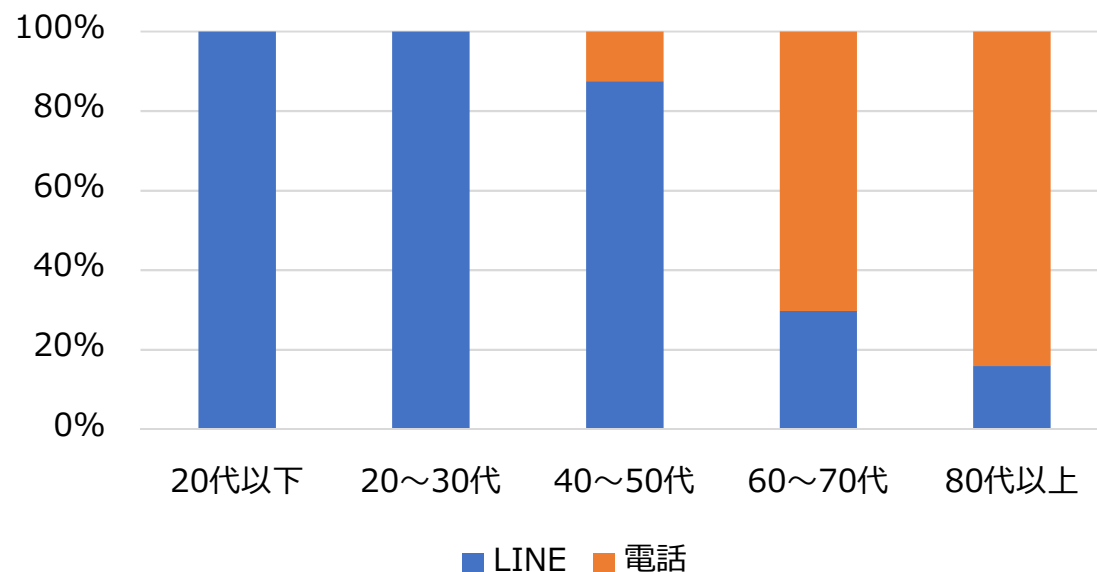


○登録者・利用者状況

利用者年代比率



年代別 予約方法の割合比



- 20代以下：3人 20～30代：8人 40～50代：16人 60～70代：37人 80代以上：44人
- 20代～50代：LINE25人・電話2人 60～70代：LINE11人・電話26人
80代以上：LINE7人・電話37人

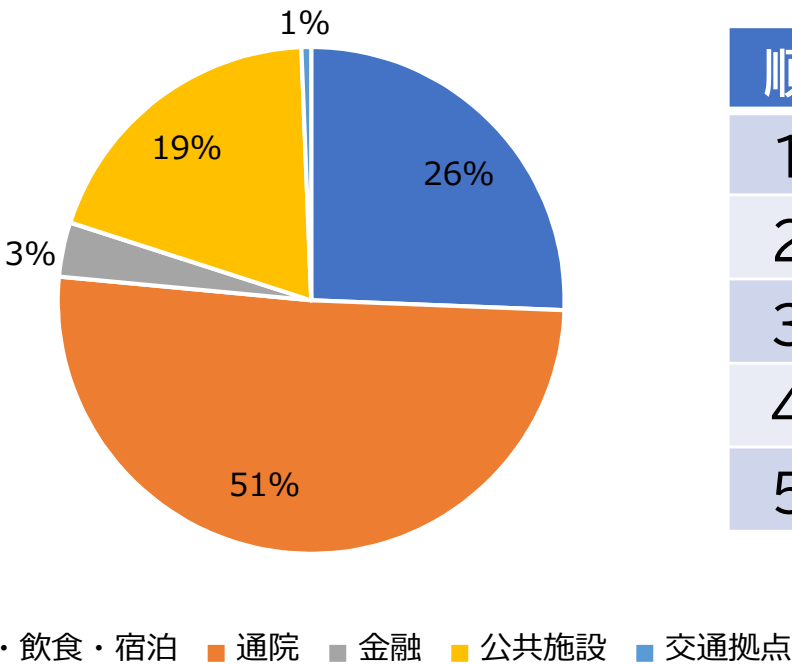
○前回協議会時から、50代以下の方の利用が増加(21%→25%)

○依然として、60代以上の方の電話予約比率は高い傾向にあるが、LINEによる予約比率は増加している(18%→27%)



○乗降地点別利用状況

カテゴリ別利用回数

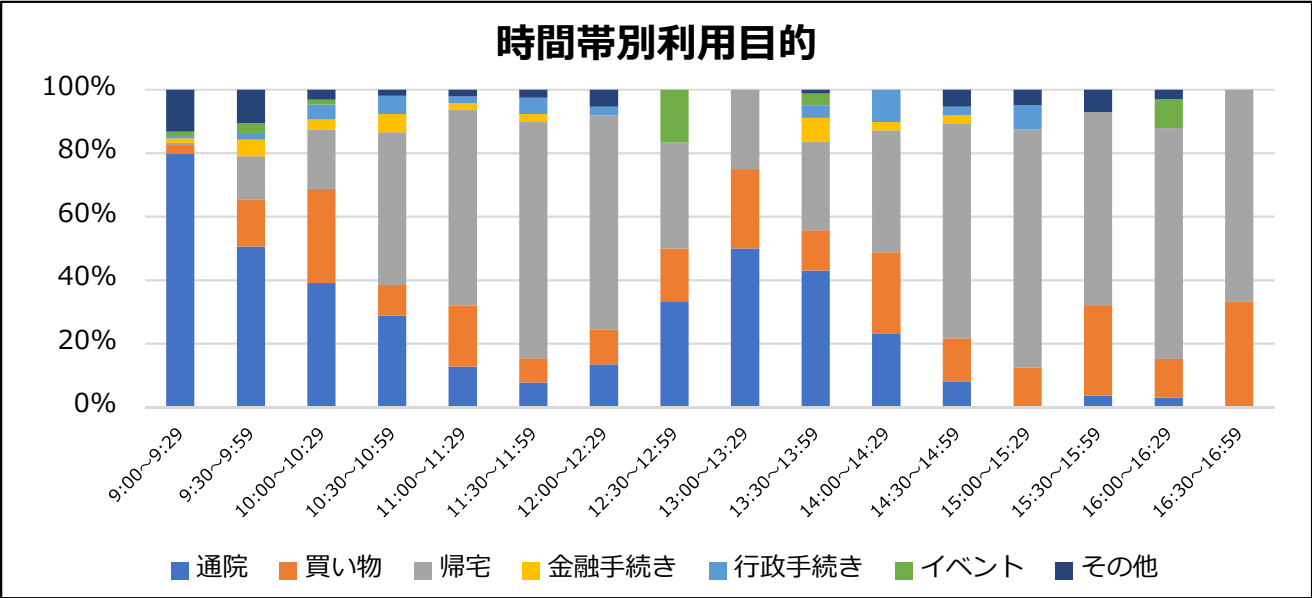
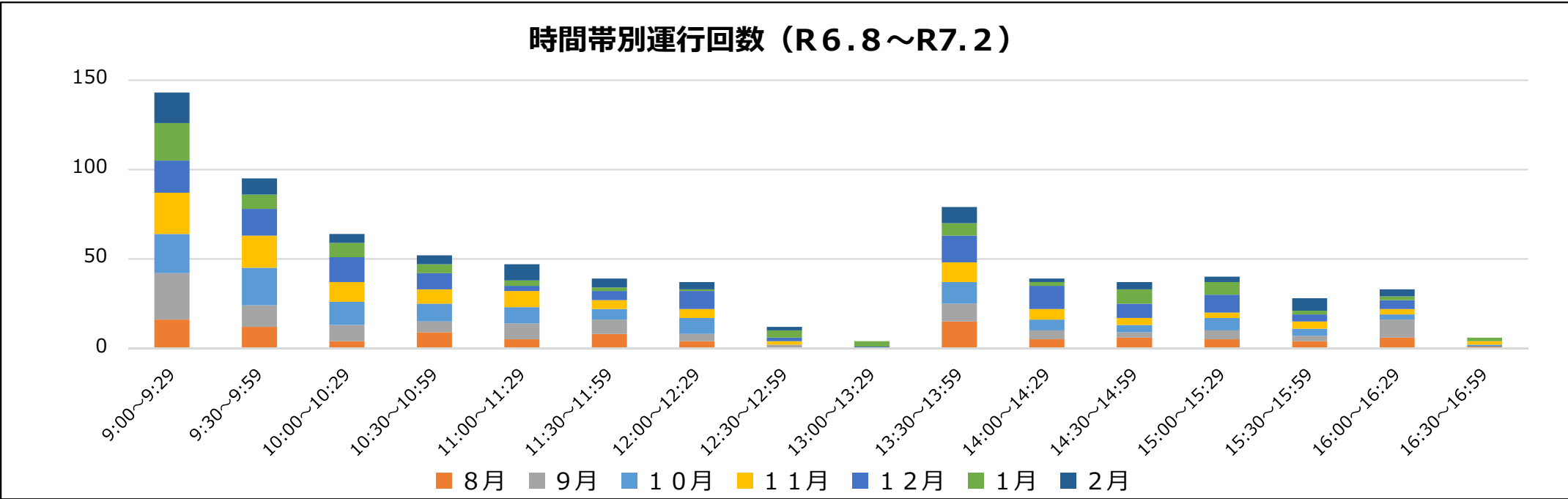


順位	乗降地点名称	利用回数
1 位	北海道立江差病院	257回
2 位	フードセンターブンテン	59回
3 位	柳崎児童館	49回
4 位	サツドラ江差柳崎店	47回
5 位	江差町役場	39回

- 買い物・飲食・宿泊：**206回** 通院：**409回**
金融機関：**28回** 公共施設：**156回** 交通拠点：**5回** ※出発地・到着地問わず集計
- 通院及び医療機関からの帰宅としての利用が全体の約 5 割を占める。そのうち、北海道立江差病院に係る利用が、全体の約 3 割を占める。
- 全90箇所の乗降地点のうち、1 度も利用のなかった地点は36地点となった。



○時間帯別利用状況



○前回協議会から引き続き、午前中、特に朝一の予約が多くなっている一方、**午後(14:00～16:00頃)の予約が増えている。**

○利用目的として、**通院・買い物及び目的地からの帰宅が多い**

○午後一の乗車も多く、**午前中に行動する人、午後から行動する人の2パターンがみられる**

※実際に乗車した時間により集計



○なべまつり限定運行

運行日時	令和7年2月1日（土）16時～20時
運行回数	15回
乗車延べ人数	17人
乗車実人数	11人
乗合発生率	60%
初乗車人数 （本格運行開始後）	9人

○イベント会場への来場を目的に9回、延べ10名、帰宅のために6回、延べ7名の利用があり、昨年度から大きく数字を伸ばした。新聞へのチラシ折り込みや公式LINEでの周知、役場内や檜山振興局内での周知、広報誌への折り込みにより数字が伸びたと推測。

○乗車実人数11人のうち、これまで江差マースの利用がなかった方が9人と、イベントをきっかけにマースを実際に利用する方が一定数いる。

○イベント会場で江差マースのブースを設け、利用相談や事前登録を併せて実施。





電話やLINEで簡単配車！



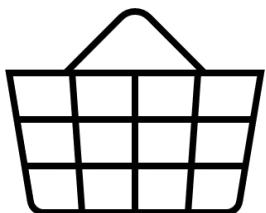
乗り合いでさらにお得に！



江差マース

登録者・未登録者アンケート調査結果

2025.03.10



EZOポイントがたまる！

1. 調査概要

(1) 調査の目的

江差マースの利便性向上、江差マースの新規顧客獲得等の持続化策の検討

(2) 調査対象

登 録 者：アンケート発送時点で江差町に居住しており、かつ江差マースを登録している方

未 登 録 者：アンケート発送時点で江差町に居住しており、かつ江差マースに登録をしていない方

(3) 調査期間

登 録 者 対 象：令和6年11月8日(金)～11月25日(月)

未 登 録 者 対 象：令和6年11月27日(水)～12月16日(月)

(4) 調査票の回収状況

登 録 者 対 象：281人送付/150票回収（回収率：53.4%）

未 登 録 者 対 象：1,420人送付/420票回収（回収率29.6%）

1. 調査概要

江差マース登録者への質問

- 属性
- スマートフォンの有無
- 江差マースを利用したか

利用した人

- 利用方法、目的
- 江差マースの改善点

登録をして利用していない人

- 理由、今後の利用意向
- 利用したいと思えるサービス

江差マース未登録者への質問

- 属性
- スマートフォン・運転免許の有無
- 外出機会の多い曜日、理由
- 移動手段
- 利用したいと思えるサービス

免許保有者に対して

- 自動車の運転意向

運転に積極的な人に対して

- 公共交通充実による運転意向

Ⅰ．調査概要

■区分分け

【北部】

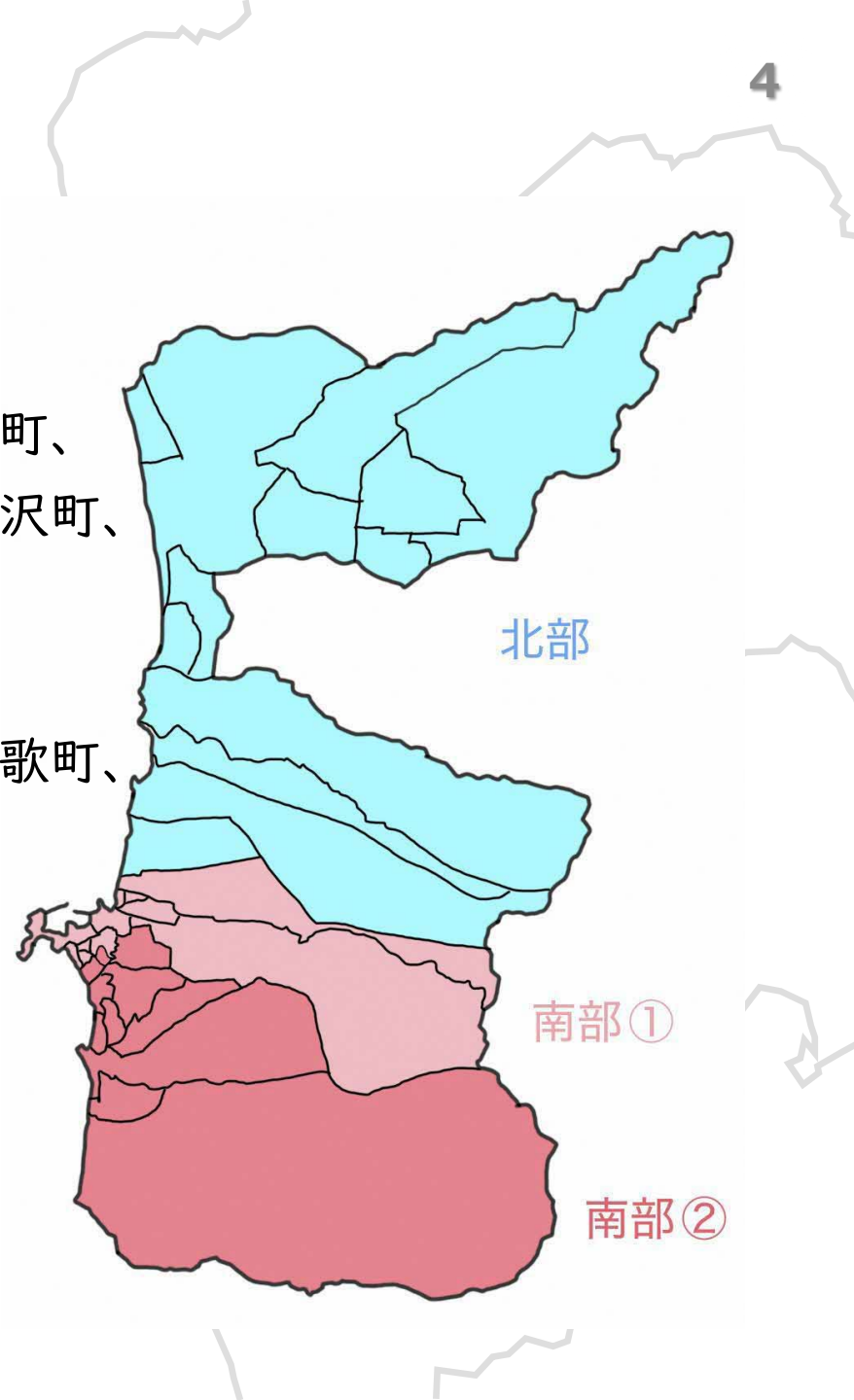
五厘沢町、水堀町、鰯川町、越前町、中網町、朝日町、小黒部町、柳崎町、伏木戸町、田沢町、尾山町、泊町、大澗町

【南部①】

東山、愛宕町、新栄町、豊川町、桧岱、中歌町、姥神町、上野町、津花町、橋本町、本町

【南部②】

茂尻町、新地町、緑丘、円山、陣屋町、海岸町、南が丘、南浜町、萩ノ岱、柏町、砂川、楢川町



2. 調査結果概要

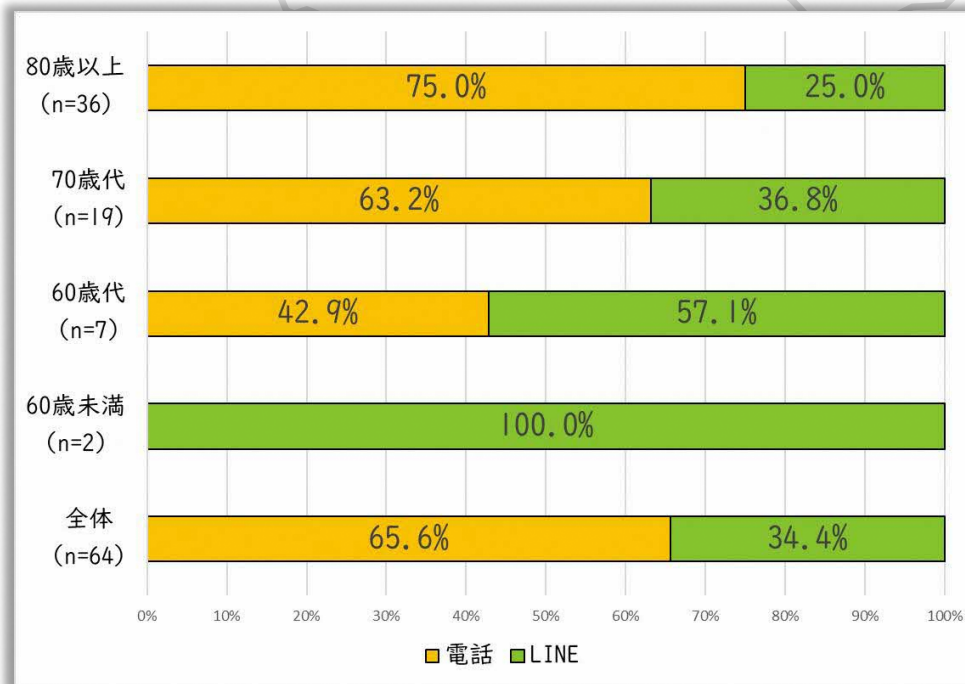
(1) 江差マースを利用した人の配車方法と利用目的

- 買い物や通院での利用目的が多く、60歳代以上が多く利用していた
- 通勤・通学での利用は無く、生活のための公共交通としての利用が多い
- 年齢層が若くなるほど、LINEを活用した予約の割合が増加

利用目的



配車方法



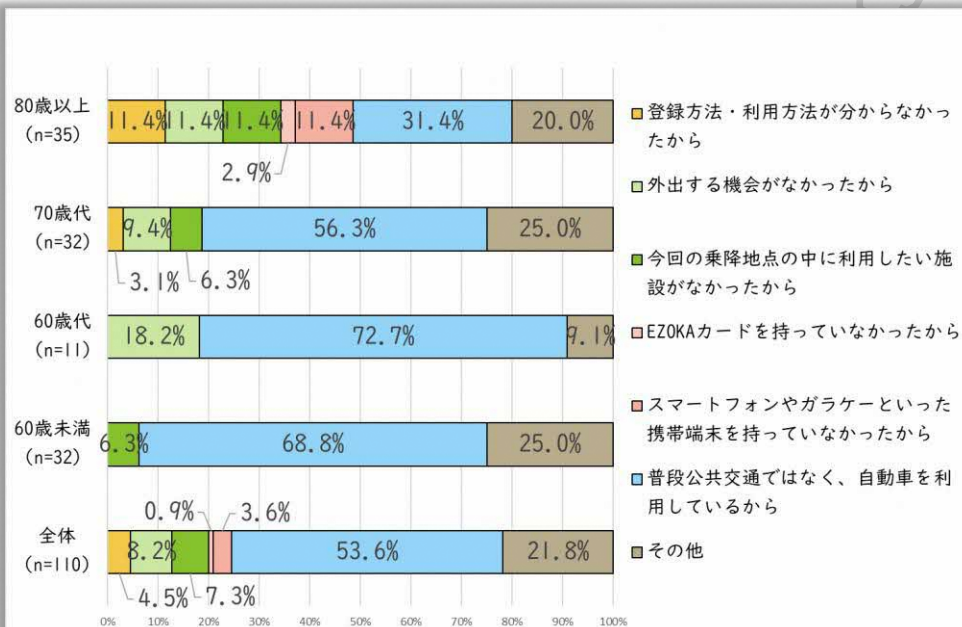
2. 調査結果概要

6

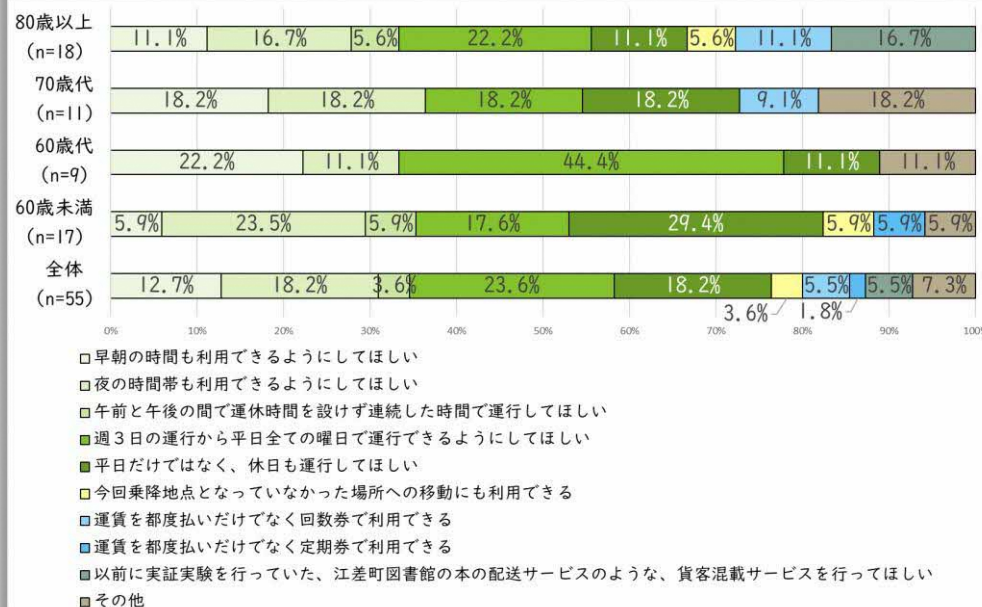
(2) 江差マースのニーズ（登録したが利用しなかった人たちの意見）

- ・ 70歳代以下で利用しなかった人の半数が、自動車を利用しているからという理由で利用しなかった
- ・ 年代に関わらず、運行頻度に関する要望が多い
- ・ 支払い方式などのサービス（回数券・定期券の導入）にも一定の要望がある

利用しなかった理由



利用していない人のニーズ



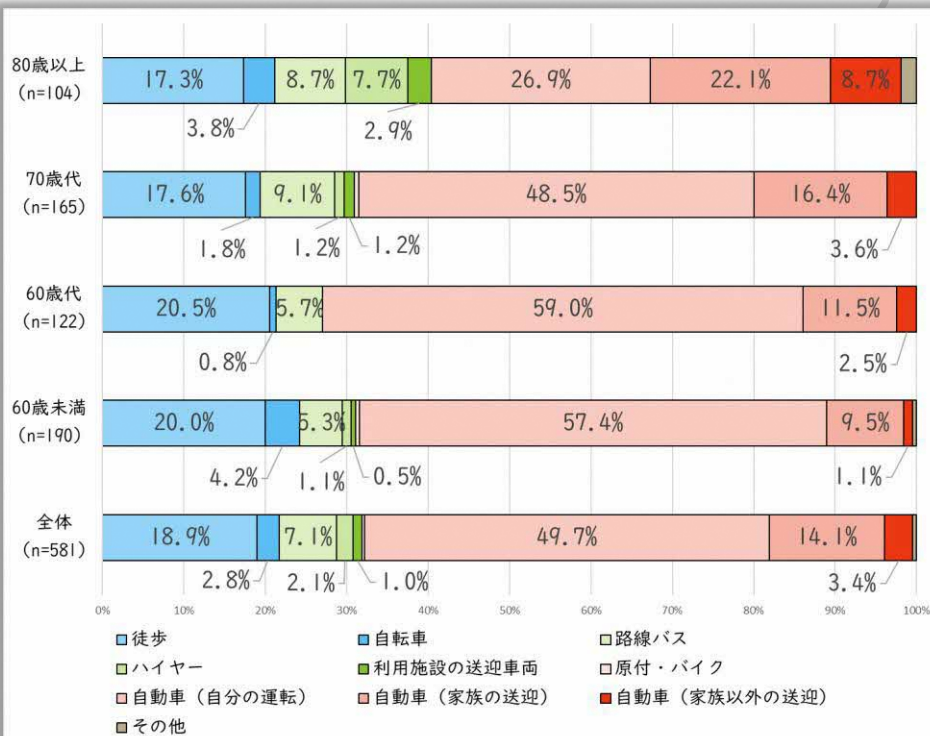
2. 調査結果概要

7

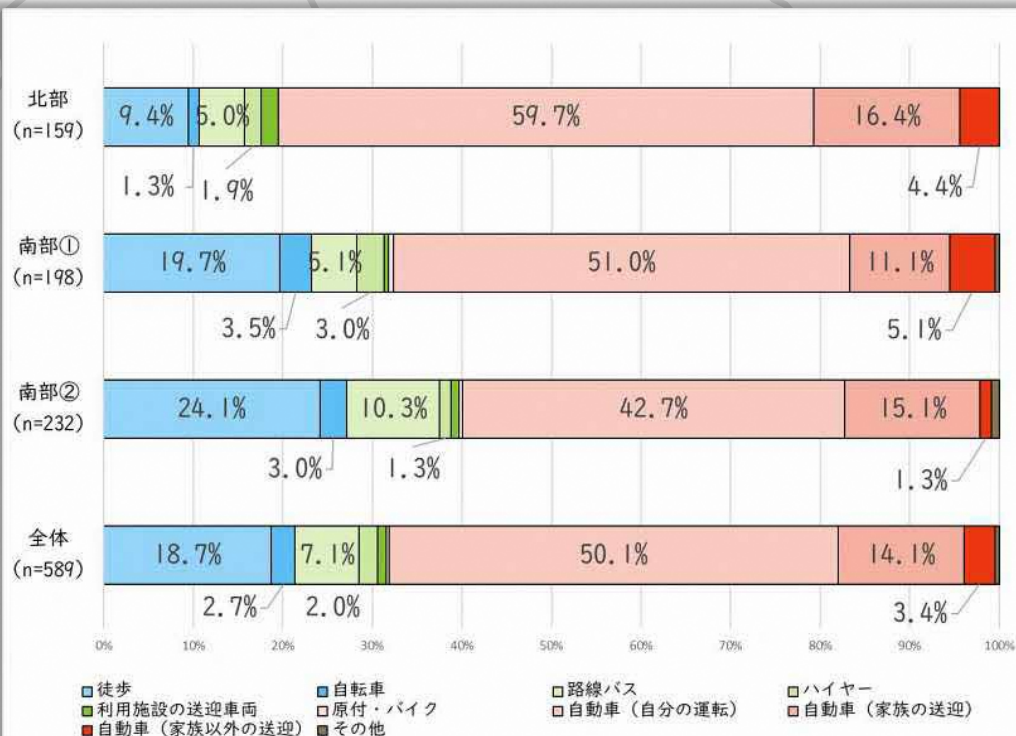
(3) 未登録者の移動手段

- ・ 自動車の利用割合がどの年代でも高いことがわかる
- ・ 80歳未満の自動車移動の割合が高い傾向にある
- ・ 南部②では、徒歩やハイヤー移動の割合が顕著に高くなっている

年代別移動手段



地域別移動手段



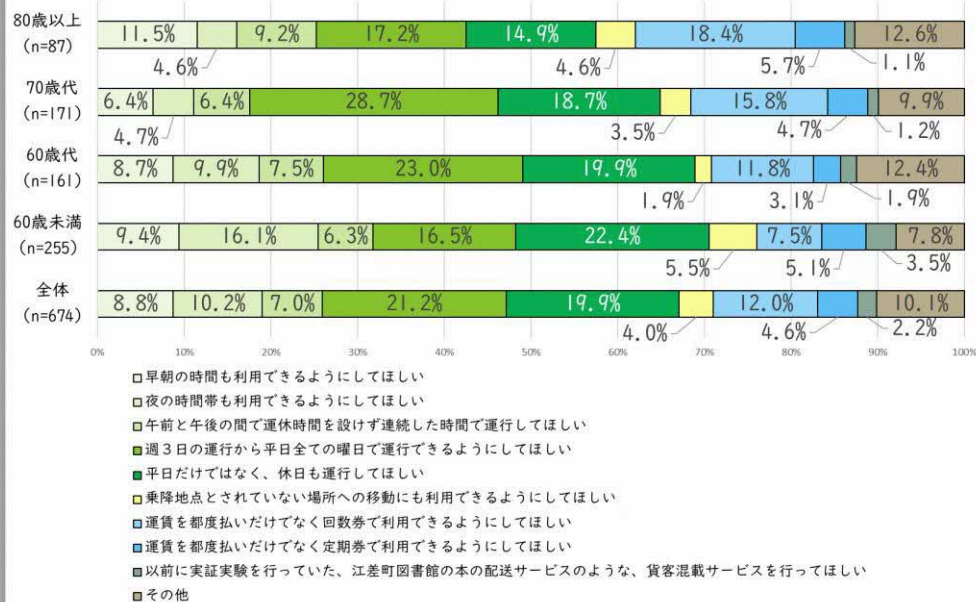
2. 調査結果概要

8

(4) 未登録者が求める必要なサービス改善

- ・ 運賃支払いに対する要望も一定数ある
- ・ 自動車での移動が地域に根付いており、公共交通での移動を意識してもらうことが重要
- ・ 一方で、公共交通を充実させることで、ある程度の需要が見込まれることも分かった
- ・ こうしたことから、いくつかの交通手段を選べる環境が求められていると考えられる

未登録者が求めるサービス



公共交通がより便利になった際の運転意向



2. 調査結果概要

9

(5) 見えてきた課題

- すべての層から運行頻度の少なさに対する意見が多く出た
 - 今は使わなくても今後必要と考える人が多くいる
- 交通事情を協議の上、ニーズを踏まえたサービス水準の継続的な検討が必要である
-
- 移動手段が自動車に依存しており、自動車以外の移動手段をそもそも想定している住民が少ない
- 移動手段は自動車だけでなく、公共交通も手段としてあるという意識を住民につけてもらうことが重要
-
- 認知度向上、利用方法の普及が重要
- 初回利用のハードルを下げるなどの工夫をする必要がある

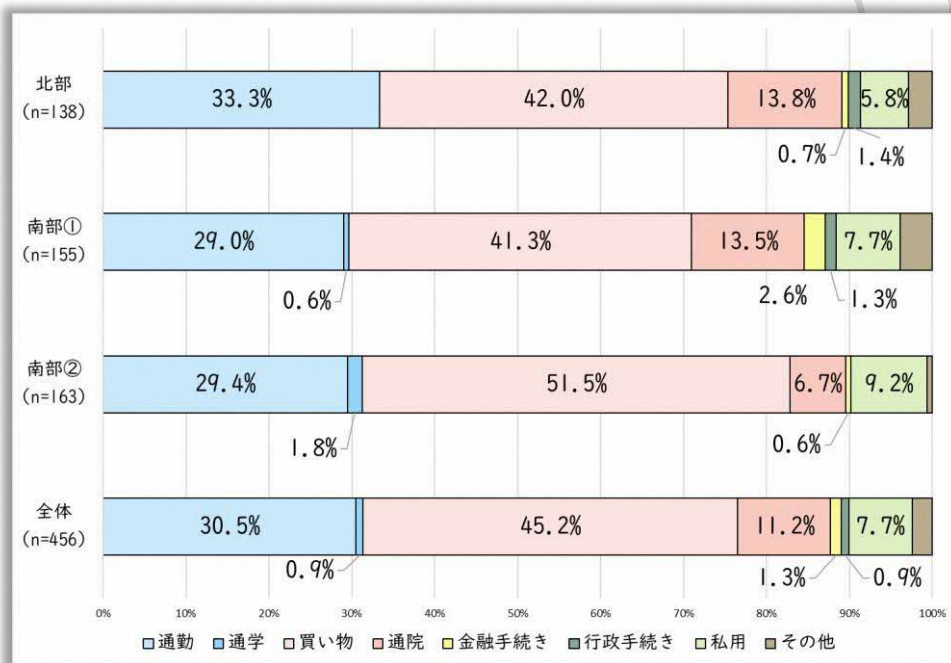
3. 調査結果詳細

10

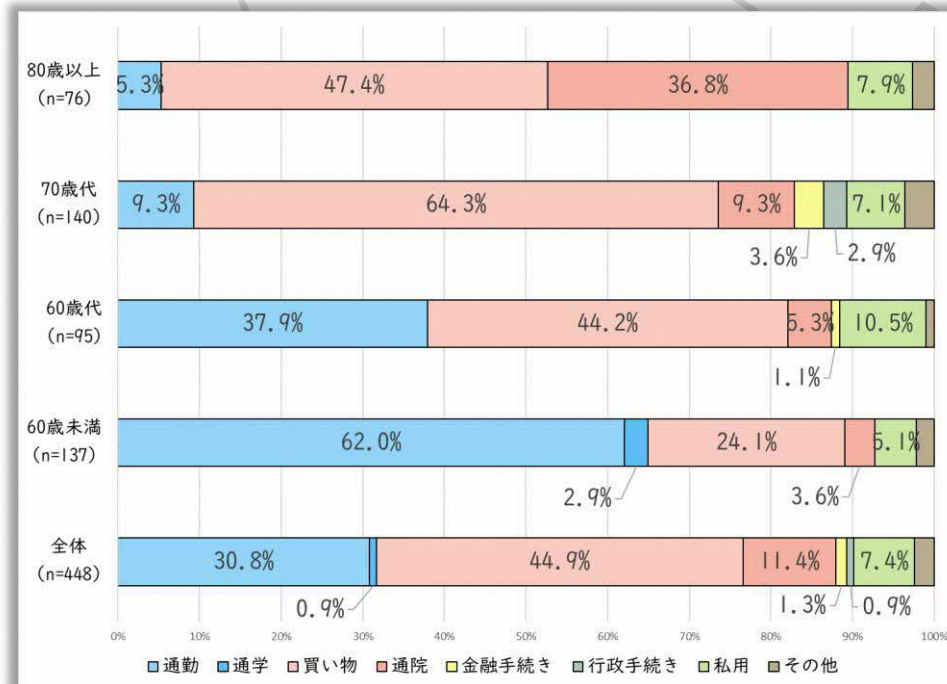
(1) 未登録者の移動目的

- 年代が低くなるにつれ通勤通学が、年代が高くなるにつれ買い物、通院目的の人が多くなる
- 地域による顕著な差はみられなかった

地域別移動目的



年代別移動目的



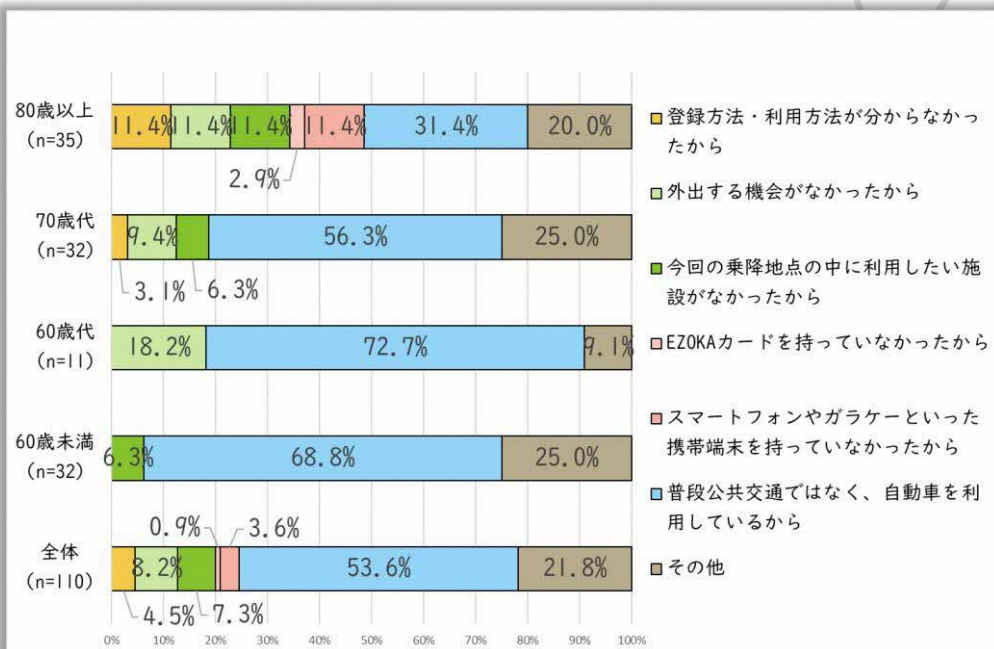
3. 調査結果詳細

11

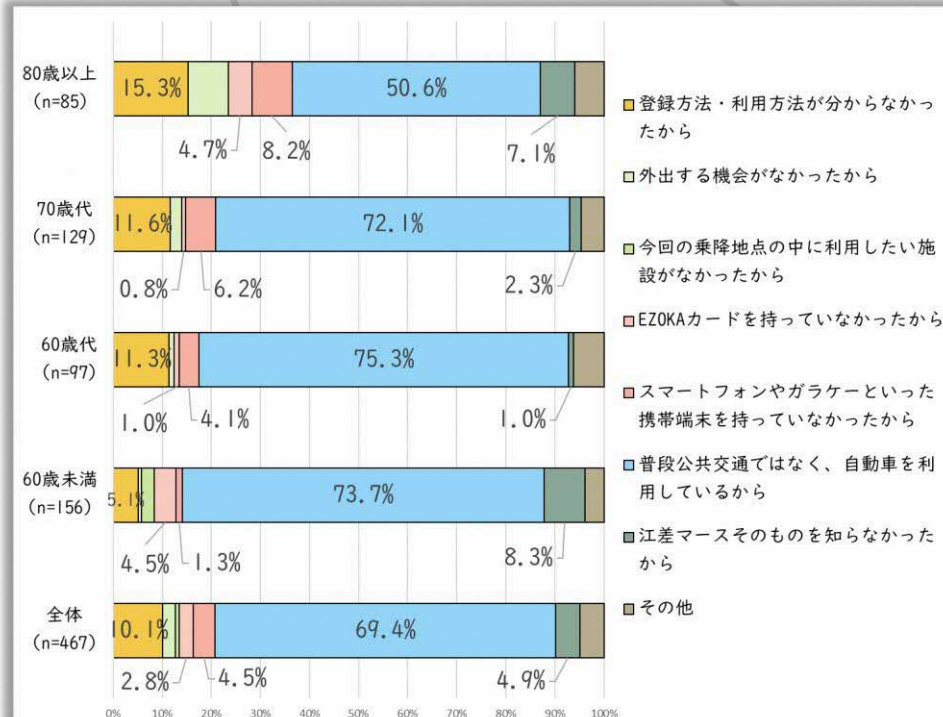
(2) 利用しなかった理由

- 年代が上がるにつれ利用・登録方法がわからない人が多くなる
- 江差マースを認知していない人が一定数いる

利用しなかった理由（登録者）



利用しなかった理由（未登録者）



3. 調査結果詳細

12

(3) 未登録者の運転意向

- 自動車での移動が地域に根付いており、公共交通での移動を意識してもらうことが重要
- 一方で、公共交通を充実させることで、ある程度の需要が見込まれることも分かった

運転意向



公共交通がより便利になった際の運転意向



3. 調査結果詳細

13

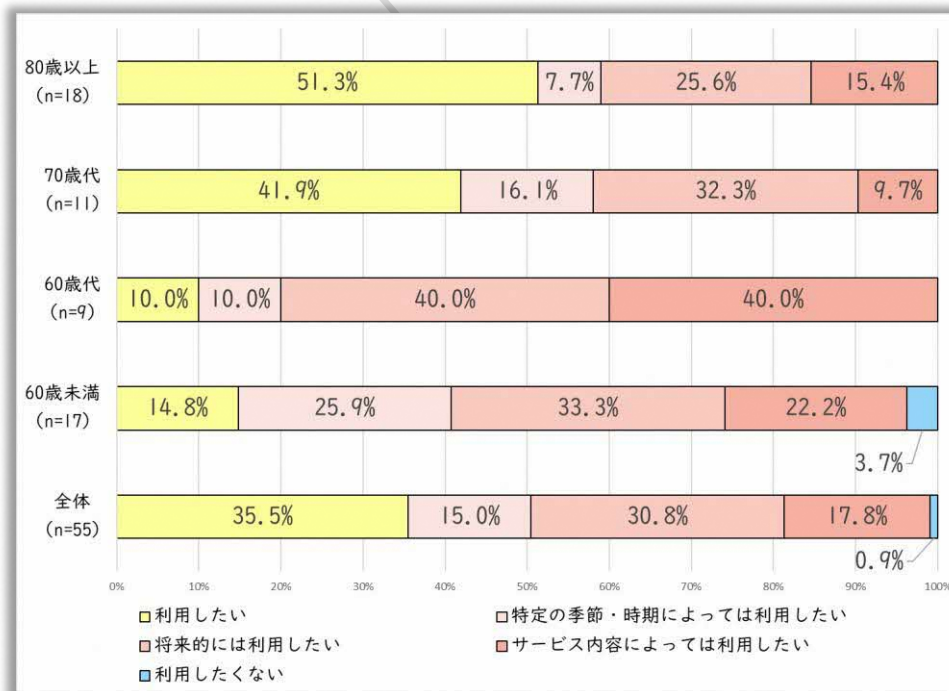
(4) 登録者の利用意向

- 70、80歳代以上の方が利用に対して積極的な傾向が見られる
- 北部より南部の方が利用に対して積極的な傾向がみられる
- サービス内容の改善や需要が高まる時期をうまく予測することで、利用者を増やすことができる可能性がある

地域別利用意向



年代別利用意向



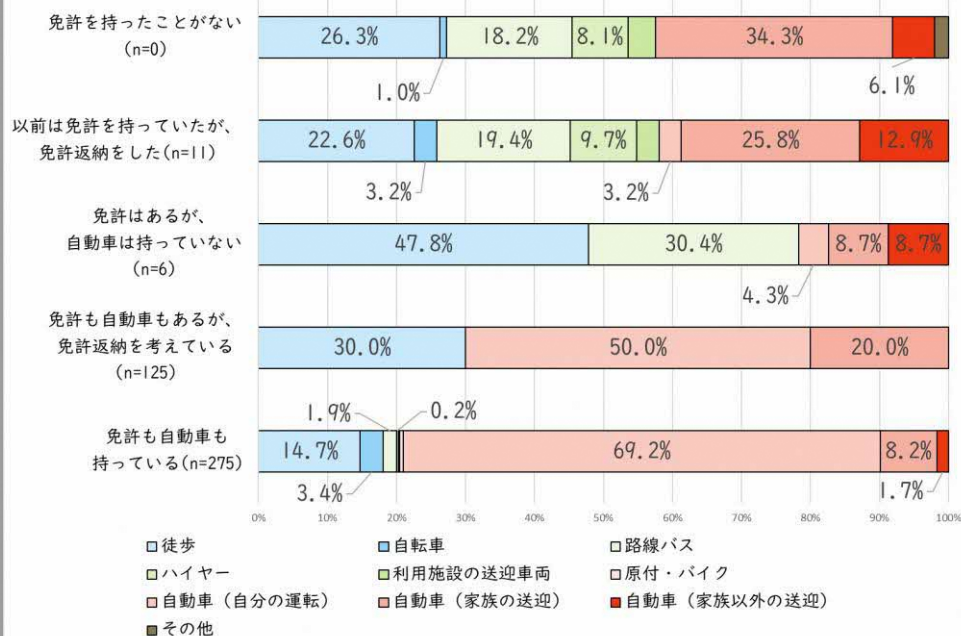
3. 調査結果詳細

14

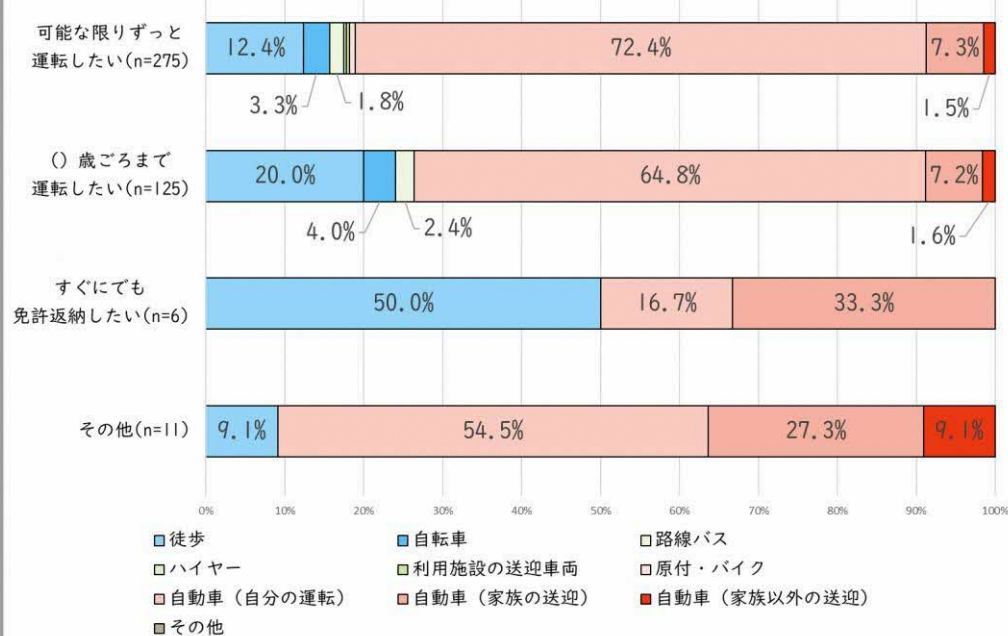
(5) 免許・自動車の有無、運転意向と移動手段

- 免許・自動車を保有していない人は、公共交通（特に、ハイヤー）や家族の送迎、徒歩での移動
- 免許返納を考えている人の3割が徒歩、2割が家族の送迎
- 可能な限りずっと運転いしたい人であっても、ハイヤーや家族の送迎に頼らざるを得ない人が一定数いる

免許の有無と移動手段



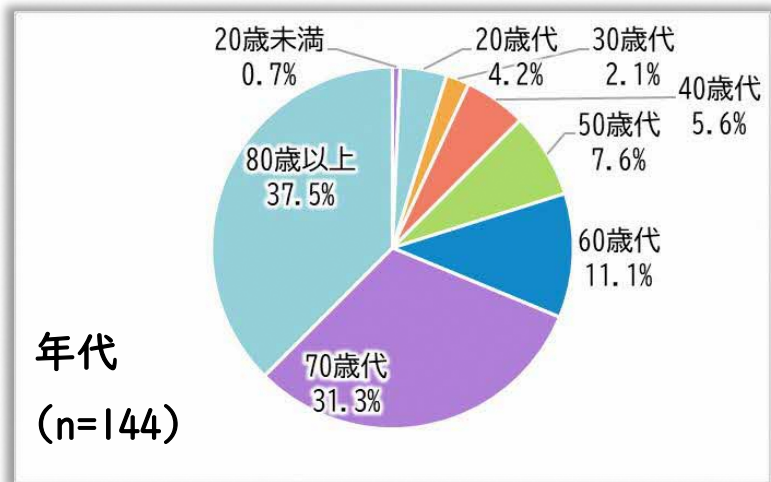
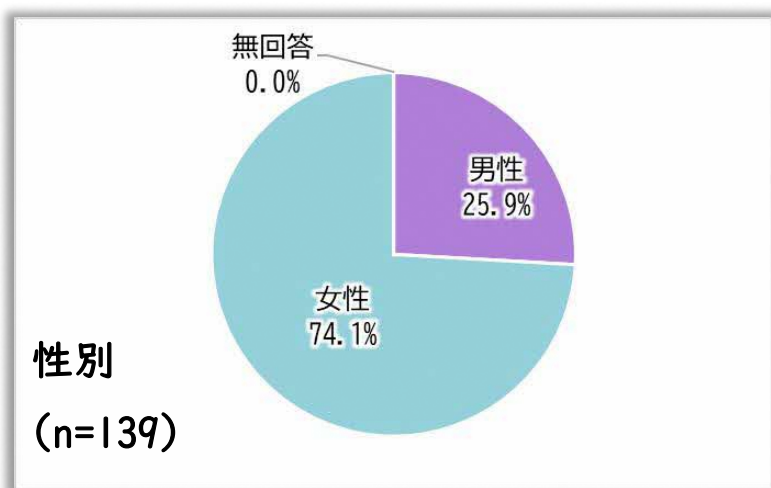
運転意向と移動手段



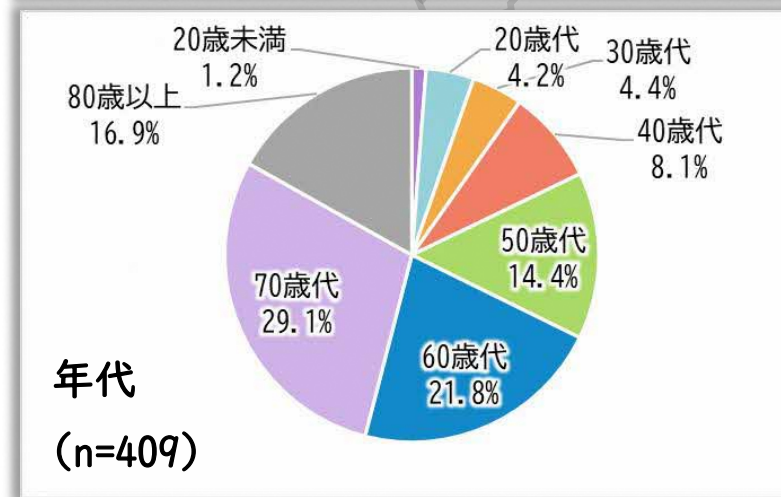
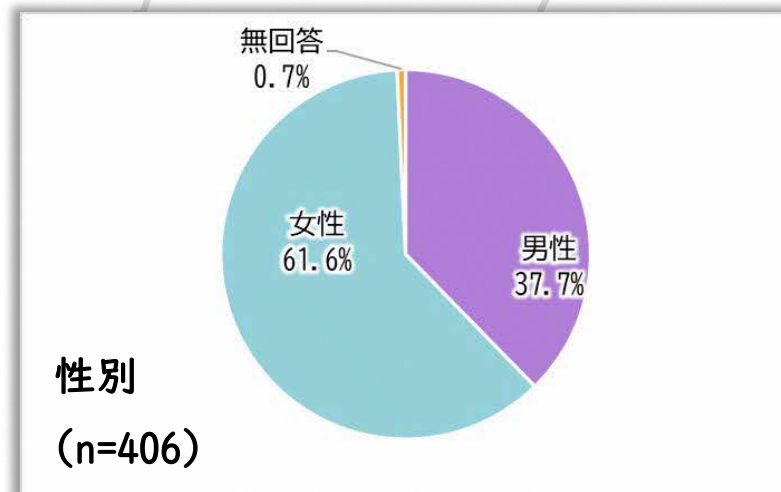
3. 調査結果詳細

15

登録者の属性

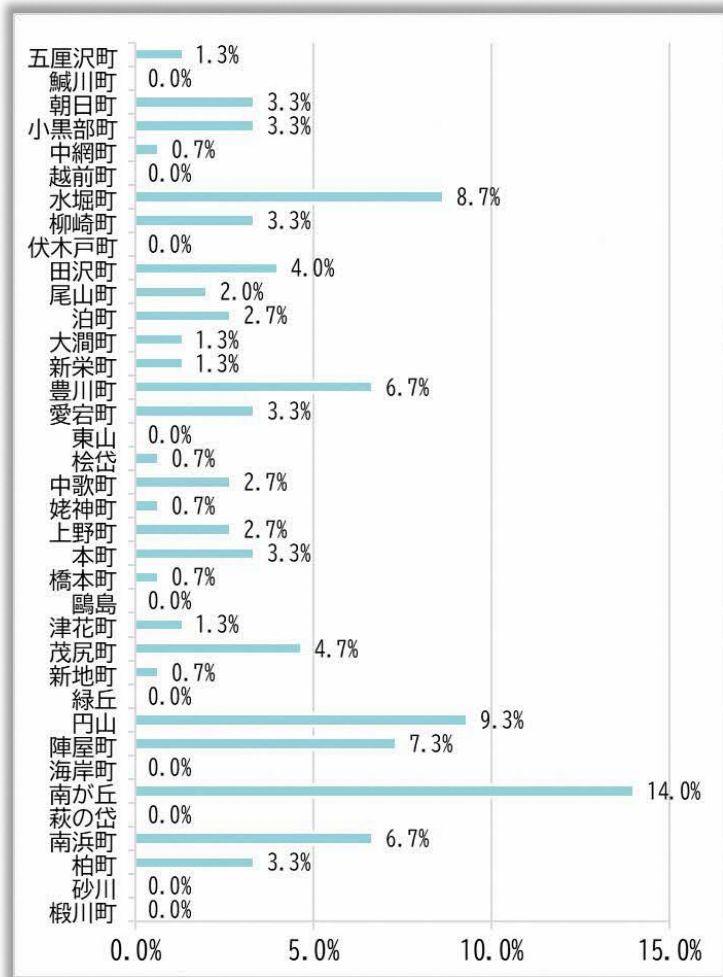


未登録者の属性

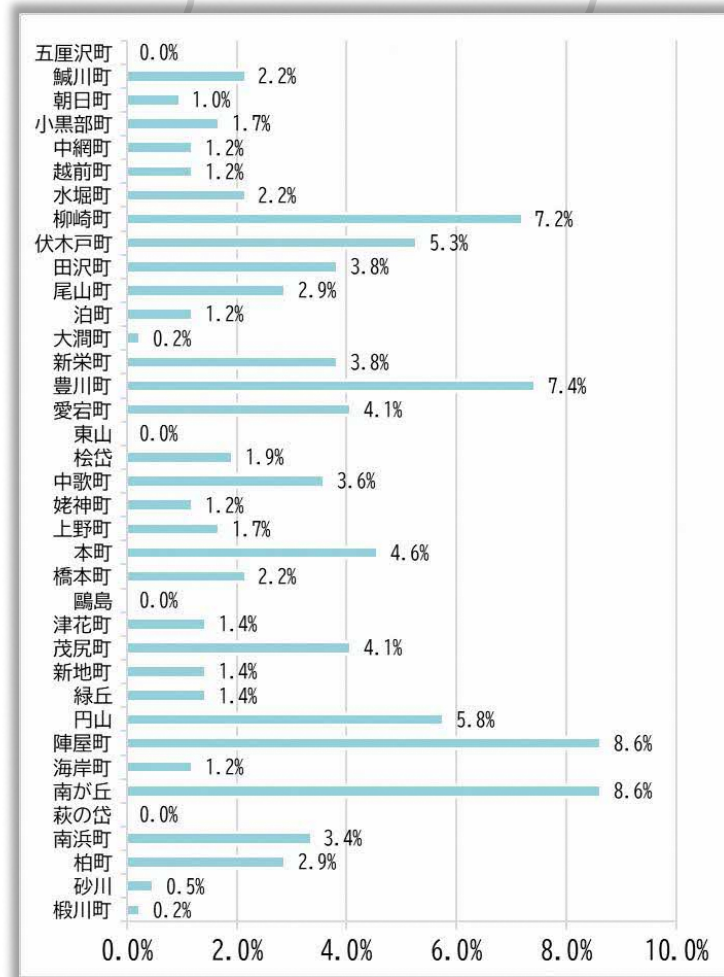


3. 調査結果詳細

登録者の居住地(n=150)



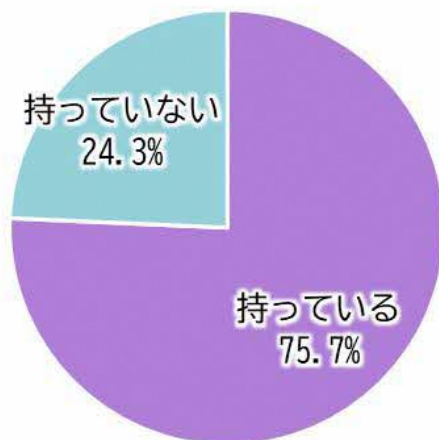
未登録者の居住地(n=417)



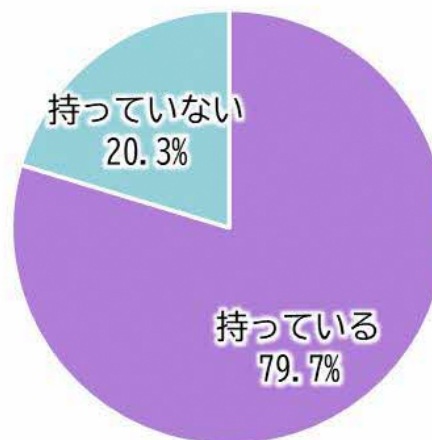
3. 調査結果詳細

17

登録者のスマホ保有割合(n=144)



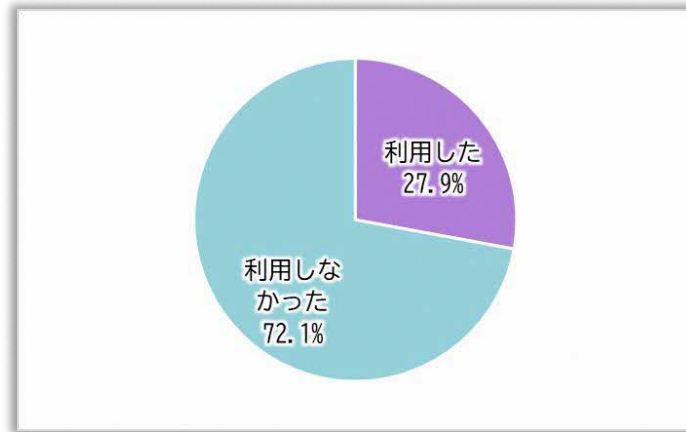
未登録者のスマホ保有割合(n=413)



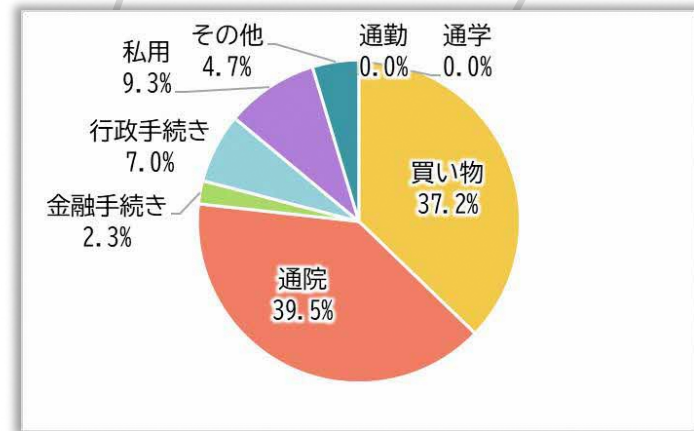
3. 調査結果詳細

18

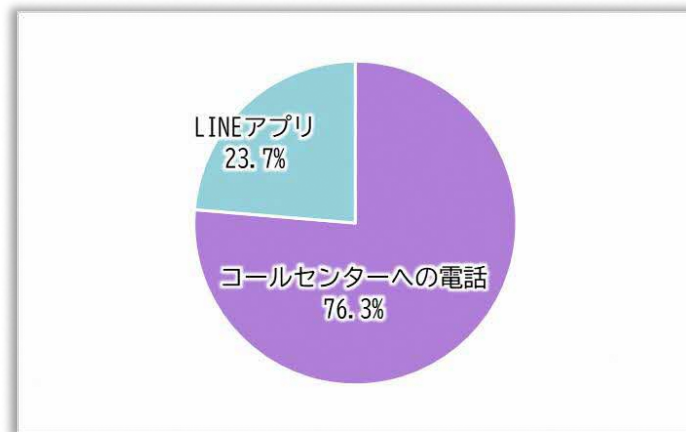
江差マースの利用状況(n=147)



利用目的(n=43)



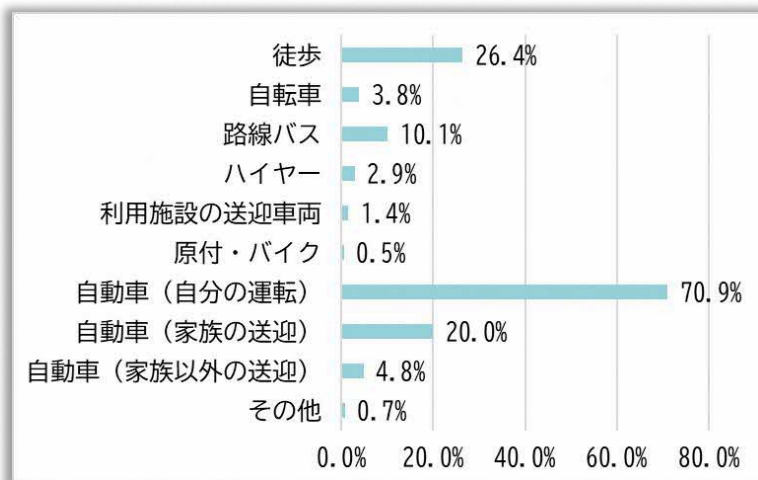
配車予約の方法(n=38)



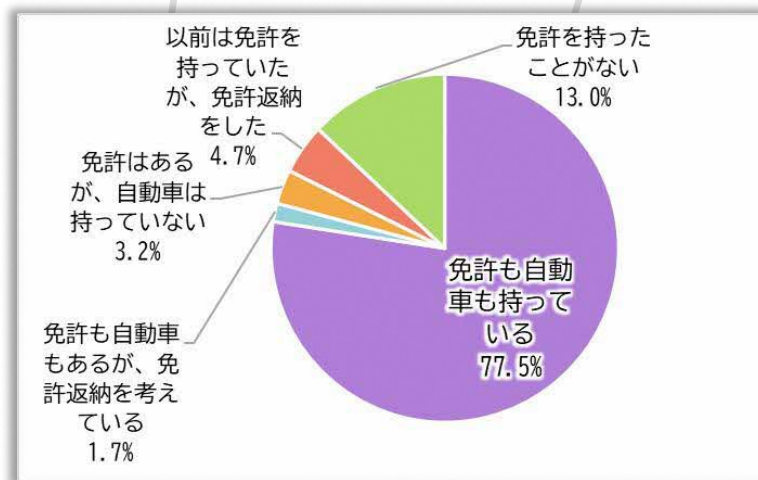
3. 調査結果詳細

19

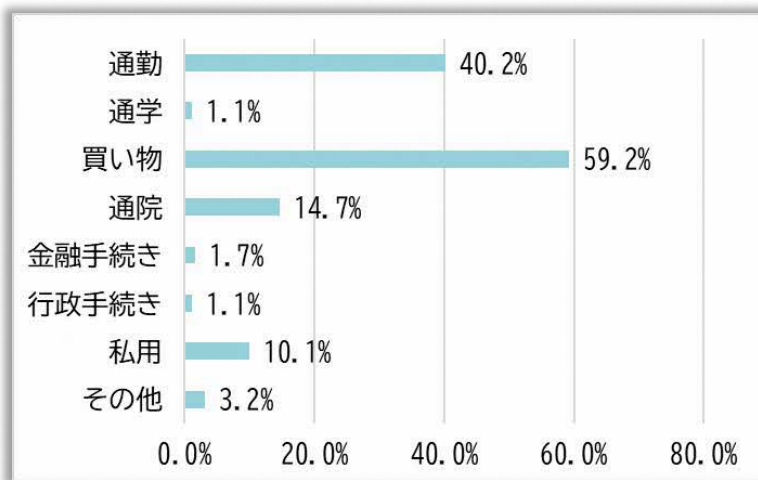
未登録者の移動手段(n=416)



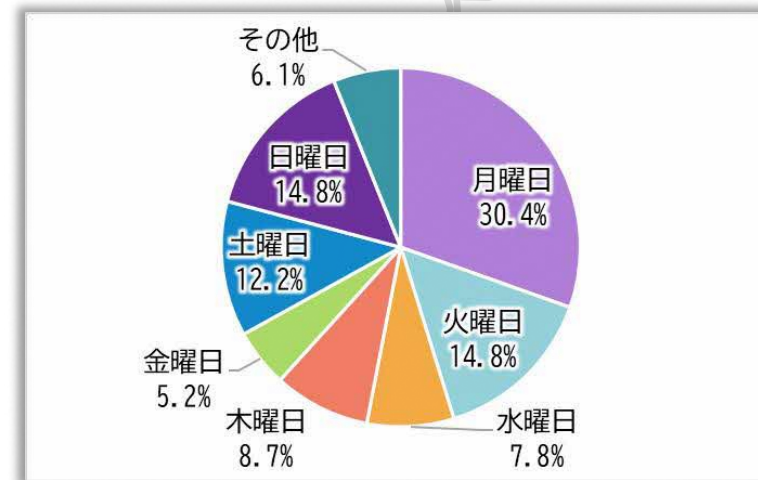
未登録者の免許の保有状況(n=408)



未登録者の外出目的(n=348)



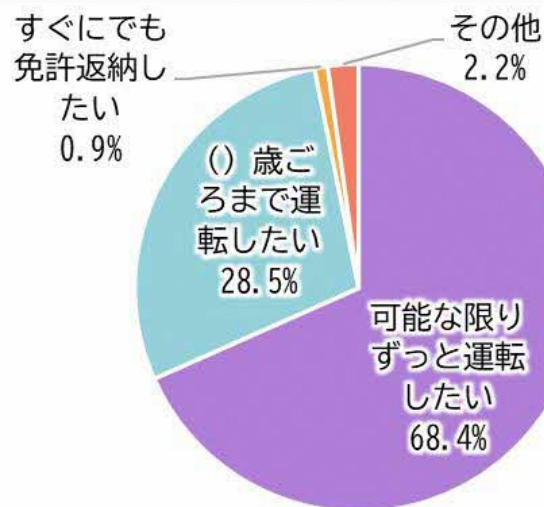
未登録者の外出が多い曜日(n=369)



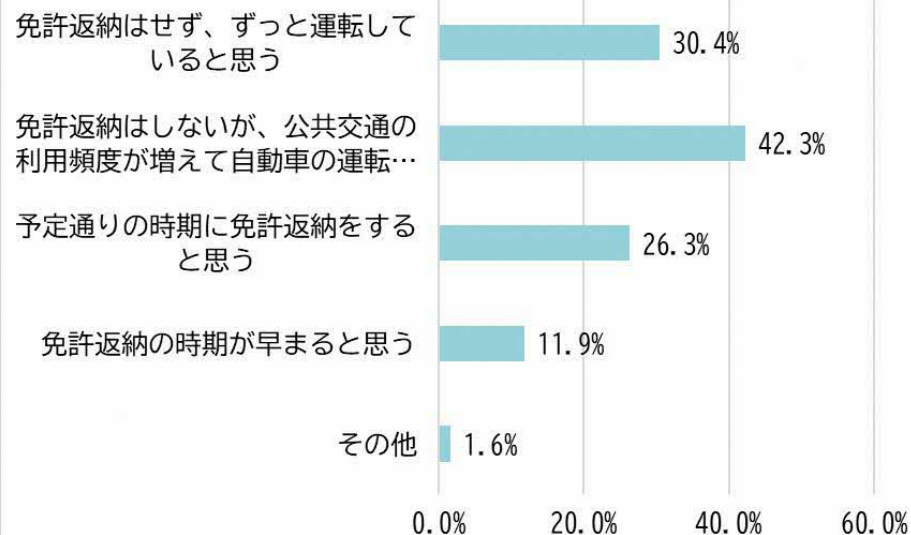
3. 調査結果詳細

20

免許保有者の運転意向(n=316)



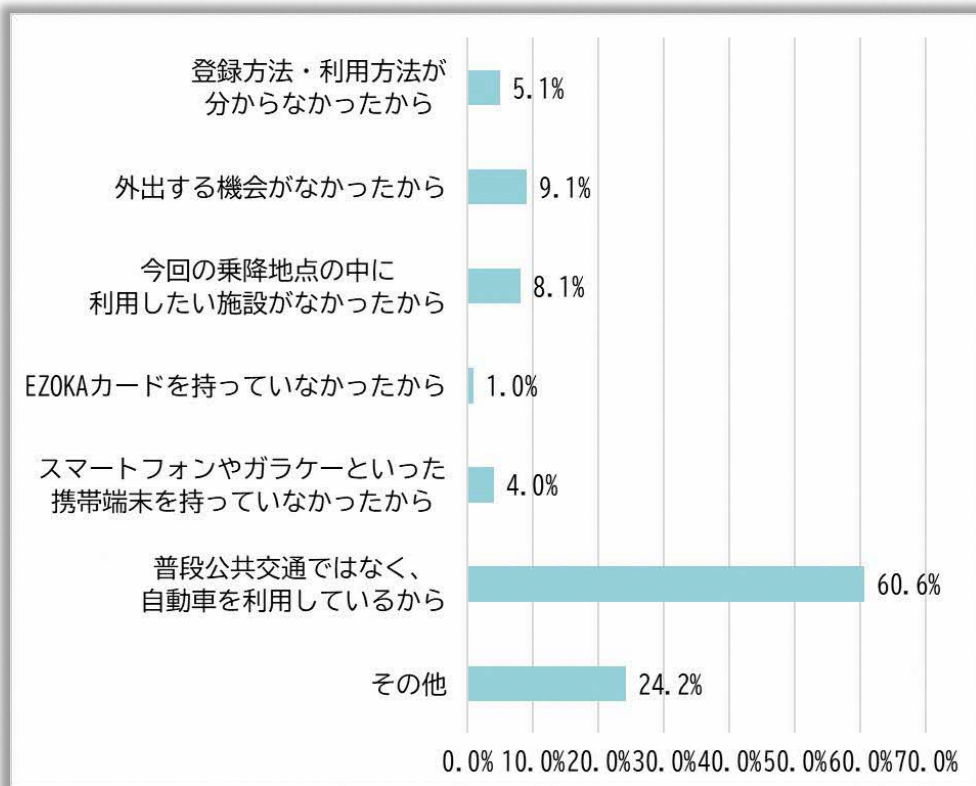
公共交通が充実した場合の運転意向(n=312)



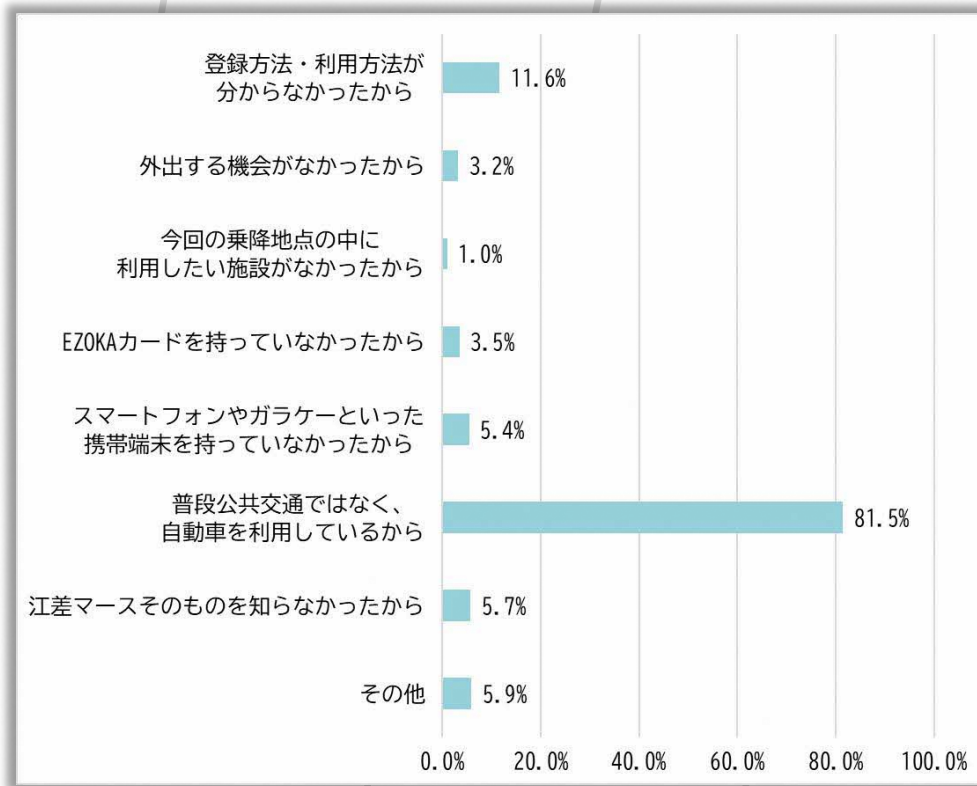
3. 調査結果詳細

21

登録者が利用しなかった理由(n=99)



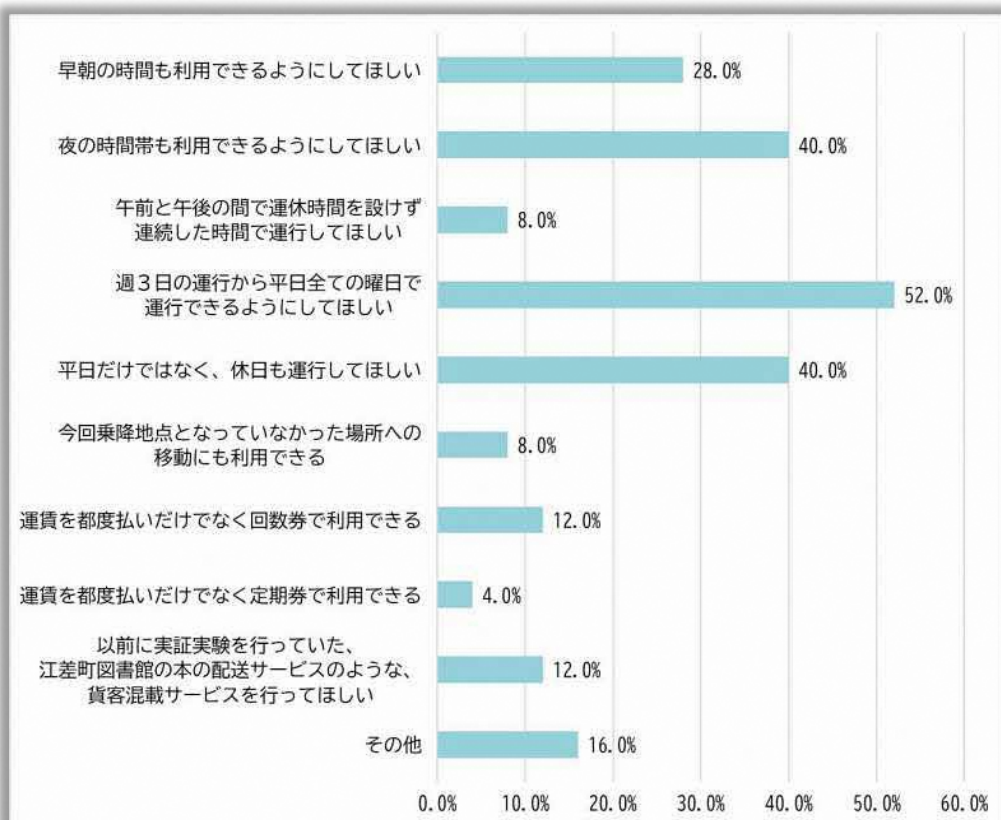
未登録者が利用しなかった理由(n=405)



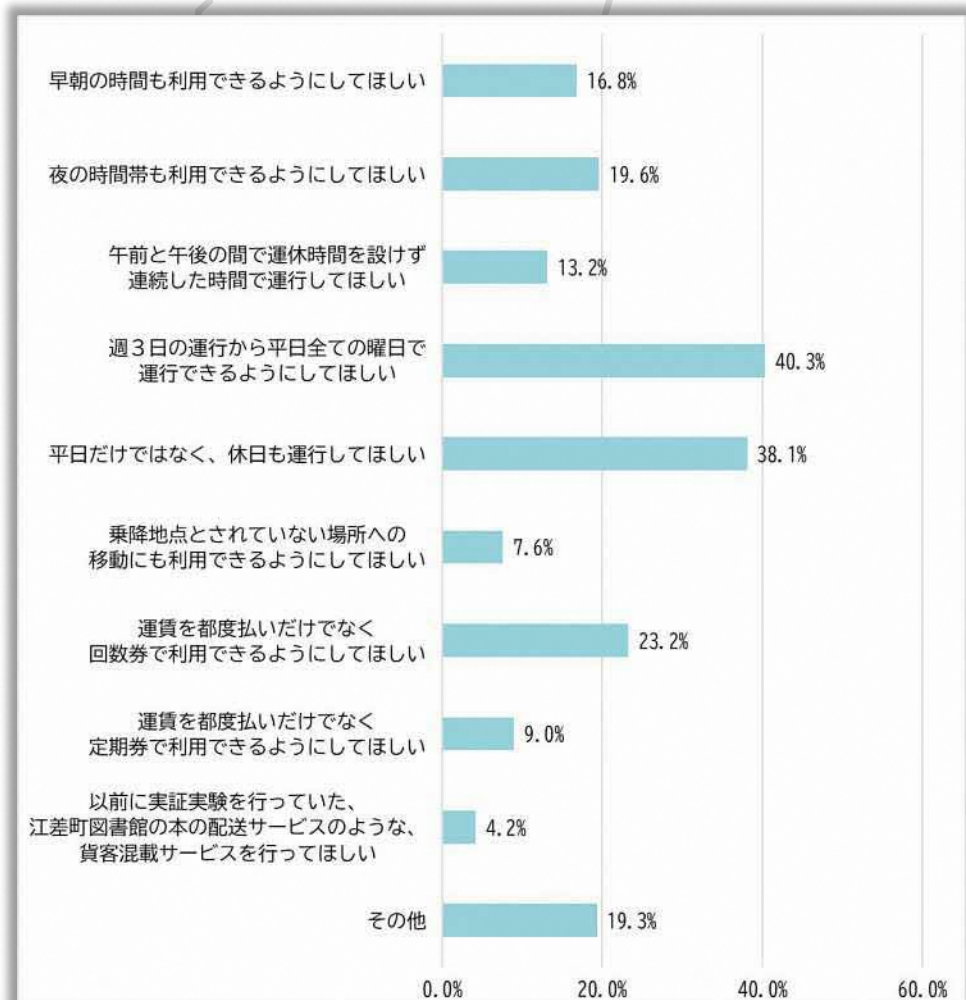
3. 調査結果詳細

22

登録者が利用したいと思えるサービス(n=25)



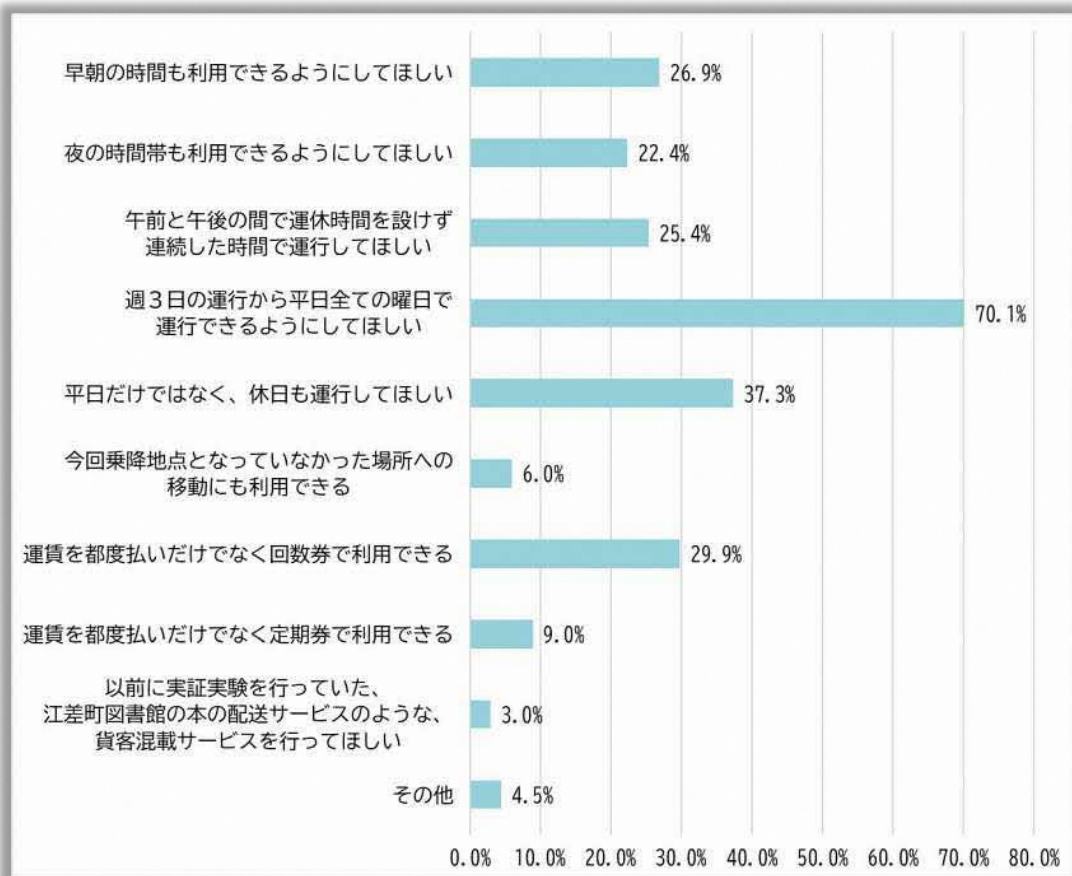
未登録者が利用したいと思えるサービス(n=357)



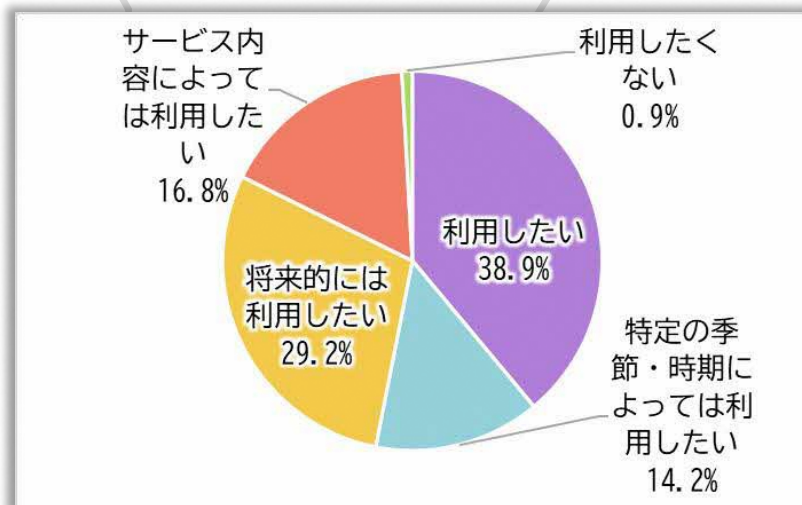
3. 調査結果詳細

23

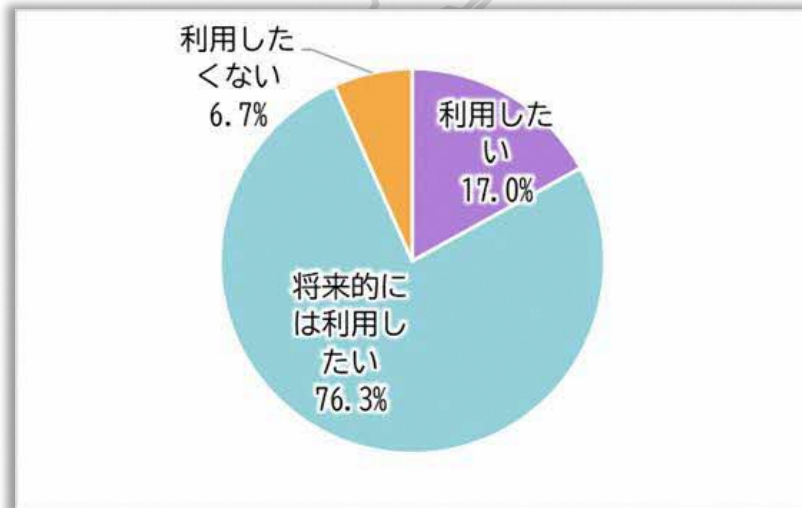
登録者が感じた改善点(n=67)



改善されたら利用したいか（登録者）(n=113)



改善されたら利用したいか（未登録者）(n=389)



3. 調査結果詳細

24

登録者の自由記述欄の内容（一部抜粋）

大項目	中項目	小項目	記述内容例	回答数
感想	継続利用	楽・便利・助かる	いつも親切に良くしてもらっています。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。（円山、80歳以上女性）	3
要望	今後の利用意向	利用したい	これからは、利用したいと思います。（円山、80歳以上女性）	4
		期待する	将来的にもとっても素晴らしい取り組みだと思います。継続して頂きたいと思います。強く願っています。（水堀町、70歳代男性）	2
	サービス改善	運賃について	500円は高いと思います！（陣屋町、60歳代女性）	3
		運行頻度について	平日全ての曜日を運行してほしいです。（津花町、70歳代女性）	4
		運用について	複数人で利用する場合、現在は自宅に全員集まらないと利用できないが、自宅と乗降地点施設の運行ルート上であれば、途中でピックアップできるようになれば、より便利。（水堀町、70歳代男性）	4
	利用方法	難しい・分からない	老人にとっては、利用方法、登録方法を簡単にしたいです。（円山、80歳以上）	3
		利用しなかった・できなかった	目的地へのコースがなかったので利用しなかった。まだ歩いての行動が可能のため利用しなかった。（茂尻町、70歳代女性）	2
その他	その他	地域公共交通について	運行する人の人数を増やすことをしていないと、途中切れになる。（田沢町、70歳代女性）	1

3. 調査結果詳細

25

未登録者の自由記述欄の内容（一部抜粋）

大項目	中項目	小項目	記述内容例	回答数
感想	今後の利用意向	利用したい	89歳になりましたけど、もう一寸自分の足で歩きたく、頑張っていけなくなったらいずれはお願いします。大変助かると思います。よろしくお願いします。（姥神町、80歳以上）	11
		期待する	車のない高齢者には、必要なサービスだと思います。（円山、50歳代男性）	7
要望	サービス改善	運賃について	回数券を出して、もう少値下げしてほしい。近くに行く場合高すぎる。（柏町、80歳以上男性）	7
		運行頻度について	便数が少ない。タクシーも少なくなったと思う。尚更、お酒を飲みに行く機会が減ってしまう。町に出歩かなくなる。そうなると、負の連鎖。（柳崎町、40歳代女性）	6
		運用について	運行エリアが町全域であるなら乗降地点も全地点にした方が良いと思います（朝日町、70歳代男性）	9
	利用方法	難しい・分からない	乗用料金が片道か往復か説明されていないのでわかりづらい。（水堀町、60歳代女性）	4
		利用しなかった・できなかった	免許返納のことも考えているが、仕事ができなくなる。（愛宕町、80歳以上女性）	3
その他	その他	地域公共交通について	現行路線バスがあるのに、必要ないと思う。長距離に対応していない以上、函館バスが撤退になる方が大変かも。（橋本町、50歳代女性）	14
		その他	乗降場所にベンチ等、座ることができる、または荷物を置ける場所があると有り難い。（南が丘、50歳代女性）	9

付. 調査票サンプル（登録者）

26

令和6年度江差マース本格運行の利用状況調査票

問1 EZOCA カードをお持ちの方はお客様番号を教えてください。

EZOCA のカード裏面にある 29 からはじまる「お客様番号」をご記入ください。

※必ずご自身の EZOCA カードの番号をご記入ください。

※アンケート回答へのポイント付与を目的として EZOCA 番号を利用いたします。

お客様番号：

2	9											
---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



問2 性別・年齢を教えてください。【1つだけ】

i 性別	ア. 男性	イ. 女性	ウ. 無回答
ii 年齢	ア. 20 歳未満 オ. 50 歳代	イ. 20 歳代 カ. 60 歳代	ウ. 30 歳代 キ. 70 歳代 エ. 40 歳代 ク. 80 歳以上

問3 ご自宅の住所を教えてください。【1つだけ】

ア. 五厘沢町	イ. 鹹川町	ウ. 朝日町	エ. 小黒部町	オ. 中網町
カ. 越前町	キ. 水堀町	ク. 柳崎町	ケ. 伏木戸町	コ. 田沢町
サ. 尾山町	シ. 泊町	ス. 大淵町	セ. 新栄町	ソ. 豊川町
タ. 愛宕町	チ. 東山	ツ. 松岱	テ. 中歌町	ト. 姥神町
ナ. 上野町	ニ. 本町	ヌ. 橋本町	ネ. 鶴島	ノ. 津花町
ハ. 茂尻町	ヒ. 新地町	フ. 緑丘	ヘ. 円山	ホ. 陣屋町
マ. 海岸町	ミ. 南が丘	ム. 萩ノ岱	メ. 南浜町	モ. 柏町
ヤ. 砂川	ユ. 檜川町			

問4 スマートフォンを保有していますか。【1つだけ】

ア. 持っている イ. 持っていない

問5 今年、8月から本格運行を開始した江差マースは利用しましたか。【1つだけ】

ア. 利用した イ. 利用しなかった → 問10へ

問6 江差マースを利用した際、主にどの方法で配車予約を行いましたか。【1つだけ】

ア. コールセンターへの電話 イ. LINE アプリ

問7 電話や LINE アプリによる配車予約について、便利もしくは不便に感じた点がございましたら、具体的に教えてください。【自由記述】

問8 江差マースを主にどのような目的で利用しましたか。【1つだけ】

ア. 通勤 イ. 通学 ウ. 買い物 エ. 通院 オ. 金融手続き
カ. 行政手続き キ. 私用 ク. その他（ ）

問9 江差マースの利用について、改善してほしいことについて、教えてください。【いくつでも】

- ア. 早朝の時間帯も利用できるようにしてほしい
- イ. 夜の時間帯も利用できるようにしてほしい
- ウ. 午前と午後の間で運休時間を設けず連続した時間で運行してほしい
- エ. 週3日の運行から平日全ての曜日で運行できるようにしてほしい
- オ. 平日だけではなく、休日も運行してほしい
- カ. 今回乗降地点となっていなかった（施設等の名称： ）への移動にも利用できる
- キ. 運賃を都度払いだけでなく回数券で利用できる
- ク. 運賃を都度払いだけでなく定期券で利用できる
- ケ. 以前に実証実験を行っていた、江差町図書館の本の配送サービスのような、貨客混載サービスを行ってほしい
- コ. その他（ ）

※問5で「イ」を回答された方にお聞きます。

問10 利用しなかった理由を教えてください。【いくつでも】

- ア. 登録方法・利用方法が分からなかったから イ. 外出する機会がなかったから
- ウ. 今回の乗降地点の中に利用したい施設がなかったから
- エ. EZOCA カードを持っていなかったから
- オ. スマートフォンやガラケーといった携帯端末を持っていなかったから
- カ. 普段公共交通ではなく、自動車を利用しているから
- キ. その他（ ）

※問5で「イ」を回答された方にお聞きます。

問11 今後、江差マースを利用したいと思いますか。【1つだけ】

- ア. 利用したい イ. 特定の季節・時期によっては利用したい
- ウ. 将来的には利用したい エ. サービス内容によっては利用したい → 問12へ
- オ. 利用したくない → 問12へ

※問11で「エ」もしくは「オ」を回答された方にお聞きます。

問12 どのようなサービス内容であれば、利用したいと思いますか。【いくつでも】

- ア. 早朝の時間帯も利用できるようにしてほしい
- イ. 夜の時間帯も利用できるようにしてほしい
- ウ. 午前と午後の間で運休時間を設けず連続した時間で運行してほしい
- エ. 週3日の運行から平日全ての曜日で運行できるようにしてほしい
- オ. 平日だけではなく、休日も運行してほしい
- カ. 乗降地点に設定されていない（施設等の名称： ）への移動にも利用できるようにしてほしい
- キ. 運賃を都度払いだけでなく回数券で利用できるようにしてほしい
- ク. 運賃を都度払いだけでなく定期券で利用できるようにしてほしい
- ケ. 以前に実証実験を行っていた、江差町図書館の本の配送サービスのような、貨客混載サービスを行ってほしい
- コ. その他（ ）

【最後に】江差マースに関する感想や改善点などご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

【最後に】江差町の公共交通に対するご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

●変更点1 運行日数増加

週3日運行（月・火・木） → 平日週5日運行

・アンケート調査でも圧倒的に要望多数（登録者：約70%、非登録者約40%）

●変更点2 乗降地点変更・追加

90箇所 → 95箇所（カテゴリ：通院→医療機関・介護施設）

○変更

ローソン姥神店→太陽クリーニングふわっと姥神店

○追加（介護施設・5箇所）

養護老人ホームひのき、えさし荘、グループホーム
なごみ・あかり、カタセール江差、かもめ荘

- ・アンケート調査での要望や、本格運行開始後に問い合わせのあった介護施設について新たに乗降地点として追加。
- ・同じくアンケート調査で要望のあった寺については、大半の寺において、道路や駐車場が狭く、通行や切り返しが困難であることから、安全面を配慮し、追加は見送る。

令和7年度江差マース運行方針について



○太陽クリーニングふわっと姥神店 ○養護老人ホームひのき



○えさし荘

○グループホームなごみ・あかり



○カタセール江差

○かもめ荘



令和7年度江差マース運行方針について



	令和6年度運行方針	令和7年度運行方針（案）
運行日	<p><u>月・火・木曜日 週3日運行</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 持続可能な運行体制の構築を優先・ 実証運行時に運行回数の多かった月・火・木を運行日に設定	<p><u>月曜日～金曜日 週5日運行</u></p>
運行時間	<p><u>(月・火・木曜日)</u> <u>9：00～17：00</u></p> <p>※13時～13時半は運休</p> <ul style="list-style-type: none">・ 江差病院利用者からの要望に応え、運行開始を30分早期化・ 令和5年度実証運行結果を考慮し、休憩時間を13時～13時半に設定	<p><u>(月曜日～金曜日)</u> <u>9：00～17：00</u></p> <p>※13時～13時半は運休</p>
運行形態	<p>自家用有償旅客運送 【交通空白地有償運送／道路運送法第78条第2項】</p> <p>※江差町が運行主体で、 運行業務を(有)桧山ハイヤーに委託</p>	<p>自家用有償旅客運送 【交通空白地有償運送／道路運送法第78条第2項】</p> <p>※江差町が運行主体で、 運行業務を(有)桧山ハイヤーに委託</p>

令和 7 年度江差マース運行方針について



	令和 6 年度運行方針	令和 7 年度運行方針（案）
運行 区域	<p>江差町全域 登録した自宅及び<u>90箇所</u>の乗降 地点間を運行</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公共施設のうち追加要望のあった ものや地域バランスを考慮し、 <u>「ぬくもり温泉」「大潤寿の家」</u> の 2 地点を追加。・ エコーの供用開始に伴い、乗降 地点「江差BASEプラス 1」を <u>「コミュニティプラザえさし・ エコー」</u>と改称	<p>江差町全域 登録した自宅及び<u>95箇所</u>の乗降 地点間を運行</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「ローソン江差姥神店」の閉店に 伴う廃止。・ <u>「太陽クリーニングふわっと姥神 店」「養護老人ホームひのき」 「えさし荘」「グループホーム なごみ・あかり」「カタセール 江差」「かもめ荘」</u>の 6 地点を 追加
旅客の 範囲	江差町内に居住する住民 及び町外からの訪問者 (事前登録者及びその同乗者)	江差町内に居住する住民 及び町外からの訪問者 (事前登録者及びその同乗者)
運行 車両	桧山ハイヤー所有ジャンボ ハイヤー(乗客定員 8 名)1 台	桧山ハイヤー所有ジャンボ ハイヤー(乗客定員 8 名)1 台

令和 7 年度江差マース運行方針について



	令和 6 年度運行方針	令和 7 年度運行方針（案）
予約方法	<p>電話（オペレーター・役場受付） またはスマホアプリ「LINE」 を利用した事前予約制</p> <p>※予約受付期間は利用日の 1 週間 前から当日の30分前まで</p> <p>※電話受付時間は平日の<u>8時45分 ～12時・12時45分～16時30分</u></p>	<p>電話（オペレーター・役場受付） またはスマホアプリ「LINE」 を利用した事前予約制</p> <p>※予約受付期間は利用日の 1 週間 前から当日の30分前まで</p> <p>※電話受付時間は平日の<u>8時45分 ～12時・12時45分～16時30分</u></p>
運行経路	<p>配車予約に基づき AI が自動生成 した経路の運行</p> <p>※<u>90</u>箇所の乗降地点を設定の上、 予約者の自宅を含む乗降地点間 のみを、配車予約に応じてその 都度運行する区域運行方式(乗り 合い制・フルデマンド型)</p> <p>※配車管理は、AI 便乗配車計算シス テム「SAVS(サブス)」を活用</p>	<p>配車予約に基づき AI が自動生成 した経路の運行</p> <p>※<u>95</u>箇所の乗降地点を設定の上、 予約者の自宅を含む乗降地点間 のみを、配車予約に応じてその 都度運行する区域運行方式(乗り 合い制・フルデマンド型)</p> <p>※配車管理は、AI 便乗配車計算シス テム「SAVS(サブス)」を活用</p>

令和7年度江差マース運行方針について



	令和6年度運行方針	令和7年度運行方針（案）
運賃設定	定額制	定額制
一般運賃	(乗合なし) 500円/人 (乗合あり) 300円/人	(乗合なし) 500円/人 (乗合あり) 300円/人
福祉割引運賃・こども運賃	一律 200円/人 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・介護保険被保険者証・特定医療費（指定難病）受給者証のいずれかを運賃支払時に運転手に提示 ※小学生以下(6～12歳以下)は運転手へ自己申告	一律 200円/人 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・介護保険被保険者証・特定医療費（指定難病）受給者証のいずれかを運賃支払時に運転手に提示 ※小学生以下(6～12歳以下)は運転手へ自己申告
学割運賃	一律 200円/人 ・中学生・高校生の利用促進を図るため、学生証の提示で割引	一律 200円/人 ・中学生・高校生の利用促進を図るため、学生証の提示で割引
乳幼児運賃	一律無料 ※保護者同伴に限る	一律無料 ※保護者同伴に限る

令和7年度江差マース運行方針について



	令和6年度運行方針	令和7年度運行方針（案）
決済方法	現金もしくはEZOCAカード （電子マネー・EZOポイント）	現金もしくはEZOCAカード （電子マネー・EZOポイント）
EZOCA 特典 ポイント	①LINE予約特典 1回の予約・乗車につき 10ポイント付与 ②電子マネー決済特典 支払額の10%ポイント還元 ③ボーナス特典 月4回ごとの利用につき 100ポイント付与 （EZOCAカード決済回数に限る）	①LINE予約特典 1回の予約・乗車につき 10ポイント付与 ②電子マネー決済特典 支払額の10%ポイント還元 ③ボーナス特典 月4回ごとの利用につき 100ポイント付与 （EZOCAカード決済回数に限る）
イベント 限定運行	2月1日(土) 美味百彩 なべまつり	<u>事業者と調整のうえ実施予定</u> <u>※運行と併せて事前登録・利用相談</u> <u>会等の周知活動も実施予定</u>

江差町地域公共交通計画の変更について

#江差町地域公共交通計画 新旧対照表

【新】			【旧】		
頁数	種別	内容	頁数	種別	内容
表紙	文章	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改定時期の追記 ・「令和 7 年〇月一部改訂」 	表紙	文章	・「令和 6 年 5 月一部改訂」
95	文章	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業内容の変更 ・「#江差マース運行概要の整理」 ・「・運行日 : 月曜日～金曜日の週 5 日運行」 ・「・運行時間 : 9:00～17:00 (13:00～13:30 は運休)」 ・「・運行形態 : 自家用有償旅客運送」 ・「(運行主体:江差町、運行業務委託:有限会社桧山ハイヤー)」 ・「・運行区域 : 江差町全域 (登録した自宅及び町内 95 箇所の乗降地点間の運行)」 ・「・旅客の範囲: 江差町内に居住する住民及び町外からの訪問者」 ・「・運行車両 : 桧山ハイヤー所有ジャンボハイヤー (乗客定員 8 名) 1 台」 	95	文章	<ul style="list-style-type: none"> ・「#江差マース運行概要の整理」 ・「・運行日 : 月曜日・火曜日・木曜日の週 3 日運行」 ・「・運行時間 : 9:00～17:00 (13:00～13:30 は運休)」 ・「・運行形態 : 自家用有償旅客運送」 ・「(運行主体:江差町、運行業務委託:有限会社桧山ハイヤー)」 ・「・運行区域 : 江差町全域 (登録した自宅及び町内 90 箇所の乗降地点間の運行)」 ・「・旅客の範囲: 江差町内に居住する住民及び町外からの訪問者」 ・「・運行車両 : 桧山ハイヤー所有ジャンボハイヤー (乗客定員 8 名) 1 台」

2023 年度～2027 年度

江差町地域公共交通計画



令和 5 年


令和 7 年〇月一部改訂

江差町

江差町地域公共交通活性化協議会

基本
目標 i

先進技術を活用した住民が使いやすい公共交通形態の導入・確保

事業3	江差マースの本格運行及び継続的な運行に向けた取組の実施	重点課題	重点課題	重点課題	重点課題	重点課題
		1	2	3	4	5
事業 内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度及び令和4年度に実証実験を行ってきました、江差マースについて、これまでの町民等の利用者意見や利用実態を踏まえ、本格運行に実施に向けた準備を進め、準備が完了し次第、本格運行を行います。 本格運行に向け、令和4年度に実施した実証実験では、運賃を無償とし実施しており、有償とした場合の効果検証を令和5年度に実施します。 令和5年度の有償による実証実験を行い、効果検証を行った後、本格運行に向けた各種申請などを行い、本格運行を行います。 江差マースを本格運行する上では、基本目標i-事業1及び2のように、これまで当町で行ってきた交通事業や民間バス路線の見直しを行い、事業実施に必要な予算及び運転手等の人材確保など輸送資源の確保を行うことが必要です。 なお、江差マースの継続的な運行に向けては、当町からの運行継続に要する経費や特別交付税の活用のほか、国土交通省の地域公共交通確保維持事業（陸上交通：地域内フィーダー系統補助）を活用するなど、継続的な運行に必要な財源の確保を行います。 <p>---</p> <p># 江差マース運行概要の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> 運行日 : 月曜日～金曜日の週5日運行 運行時間 : 9:00～17:00 (13:00～13:30 は運休) 運行形態 : 自家用有償旅客運送 (運行主体：江差町、運行業務委託：有限会社松山ハイヤー) 運行区域 : 江差町全域（登録した自宅及び町内95箇所の乗降地点間の運行） 旅客の範囲 : 江差町内に居住する住民及び町外からの訪問者 運行車両 : 松山ハイヤー所有ジャンボハイヤー（乗客定員8名）1台 <p>---</p>	●	●			
	 <p>図 6-4 令和4年度江差マース実証実験 町内利用者による乗車状況</p>					



陸上交通様式第 1（日本産業規格 A 列 4 番）

江推進
令和 7 年 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 江差町地域公共交通活性化協議会
住 所 北海道檜山郡江差町字中歌町 193-1
代表者氏名 会長 田畑 明

地域公共交通計画変更届出書

令和 6 年 9 月 25 日付け国総地第 125 号で国土交通大臣より認定された地域公共交通計画を以下のとおり変更するので、関係書類を添えて届出します。

- 変更日
令和 7 年 月 日
- 変更箇所
表紙 改訂日
P95 江差マースの運行概要
- 変更理由
令和 7 年 4 月 1 日から運行日数及び乗降地点を拡大するため

※本届出書に、変更する事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※「変更理由」は、具体的に記述すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和7年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	運 送 継 続 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地 営業区域	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
江差町	江差町	(1) 江差マース		江差町内		往 km 復 km	194 日	970.0 回			区域運行	①・②(1)	函館江差線・桧山海岸線② デマンド運行となるため、地域 間幹線系統の運行時間に合わ せた予約・乗車が可能	③
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	江差町
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	7,428
交通不便地域	7,428

交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
7,428	江差町	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
江差町地域公共交通計画	令和7年〇月〇日	

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ハ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ハ②（2）（実施要領の2.（1）⑪））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7（ハ②（1））に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定（乗用）」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、利便増進特例又は運送継続特例を適用する場合に記載すること。

(2) 添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。（ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可）

運行回数・サービス提供時間算定表①

運行系統		江差マース		計画運行日数 B		194.0		実績運行日数 F				運休回数 (い)－(ろ)＝(は)		970.0		*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回) *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの				
				計画運行回数 (い) E		970.0		実績運行回数 (ろ) J				やむを得ない運休回数 (に) I								
								サービス提供時間(り) 0				運行割合 (ろ+に) / (い) = (ほ)								
年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K+L+M+N＝ 0						
7年 4月	月・ 火・木	往		21	210.0	50.0%	105.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				21	210.0		105.0												

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K+L+M+N＝ 0						
7年 5月	月・ 火・木	往		20	200.0	50.0%	100.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				20	200.0		100.0												

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画				実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)		
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C+G+H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K+L+M+N＝ 0						
7年 6月	月・ 火・木	往		21	210.0	50.0%	105.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				21	210.0		105.0												

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
(往、復、循環各1回)
*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行回数・サービス提供時間算定表①

運行系統		江差マース		計画運行日数 B		194.0	実績運行日数 F			運休回数 (い)－(ろ)＝(は)		970.0	*1 運行回数は、1運行を1回としてカウントする。 (往、復、循環各1回) *2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの							
				計画運行回数 (い) E		970.0	実績運行回数 (ろ) J			やむを得ない運休回数 (に) I										
							サービス提供時間(り) 0			運行割合 (ろ+に) / (い) ＝ (ほ)										
年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C＋G＋H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K＋L＋M＋N＝ 0						
7年 7月	月・ 火・木	往		22	220.0	50.0%	110.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				22	220.0		110.0												

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C＋G＋H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K＋L＋M＋N＝ 0						
7年 8月	月・ 火・木	往		20	200.0	50.0%	100.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				20	200.0		100.0												

年月	曜日 区分	片道・循環 回数 A		計 画			実 績										備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)			
				運行日数 B	運行回数 A×B＝C	調整後の運行回数		運行日数 F	運行回数*1			C＋G＋H＝ J	サービス提供時間							
調整% D	C×D＝E	増便 G	運休 (－) H			天災*2 I			実運行時間 K	待機時間 L	回送時間 M		予約時間 N	K＋L＋M＋N＝ 0						
7年 9月	月・ 火・木	往		20	200.0	50.0%	100.0						時間							
		復																		
		循	10																	
		往											時間 分 計							
		復																		
		循																		
		往																		
		復																		
		循																		
	小 計				20	200.0		100.0												
合 計				194	1,940.0		970.0													

*1 運行回数は、1 運行を1回としてカウントする。
(往、復、循環各1回)
*2 天災欄は、運休のうちやむを得ない理由のもの

令和6年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会 分科会(福祉部会)における開催結果について

1. 開催概要

- ・日 時 令和7年2月7日(金) 13時30分～
- ・会 場 江差町役場2階 庁内会議室
- ・議 題 江差町における福祉有償運送事業の現状と今後の対応方針について
福祉有償運送における各書類の改正について
福祉部会の今後の運営について

2. 議事概要

(1) 議題の概要

○江差町における福祉有償運送事業の現状について確認したのち、利用の流れフロー図、事業の利用可否に係るチェックリスト補足票、各事業者から事務局へ提出する移動困難申出書の改正について協議

- ・関連法及び施行規則、処理方針において、事業の利用にあたり協議会の確認が不要とされている利用希望者(身体障害者手帳保持者、要介護1以上であり、介護保険被保険者証所持者)については、事業者判断により事業の対象となる旨、フロー図へ追記
- ・事業の利用にあたり協議会の確認が必要とされている利用希望者(上記以外)については、役場及びケアマネージャーによって介護予防・日常生活支援総合事業の「チェックリスト」及び「補足票」を実施し、総合事業対象となった方について、事業者から福祉部会へ、チェックリスト及び補足票とともに「移動困難申出書」を提出し、福祉部会にて確認する流れを追記
- ・総合事業の対象とならなかった場合、江差マース等の代替交通を紹介する旨追記。
- ・利用希望者の細かな日常生活等での状況を把握するため、補足票に自由記述欄を追記
- ・明確に様式が統一されていなかった移動困難申出書の様式を改正、統一

○今後の福祉部会の運営について協議

- ・利用希望者の利便性向上のため、事案発生(福祉部会への書類一式の提出)ごとの福祉部会の対面開催は行わず、事務局確認後、迅速に事業者へ通知
※事案により、事業者との協議や書面開催等について検討
- ・事業の利用状況や確認状況、事業者における事業範囲の変更や情報提供などを議題に、江差町地域公共交通計画の目標値として設定している、年2回以上開催を目指す

(2) 主な質問・意見

- ・チェックリストの実施主体について、役場とケアマネージャーだけでなく、福祉有償運送の依頼がある各病院の連携室の専門職(看護師等)においても実施できるようにすれば、利用者の利便性が向上する。
→関連規則の処理方針上、医師や福祉、介護の専門職による判断がなされた方が事業の対象となり、ケアマネージャーでなければいけないという規則ではないため、フロー図の文言修正
- ・各関連書類については、事案発生ごとに役場に取りに行く形になるのか。
→事業者やケアマネージャー、病院等に様式を配布する予定

3. 関連様式

資料7のとおり

他人の介助によらず移動することが困難となり、一人でタクシー等の公共交通機関を利用できなくなった

実施団体へ相談

役場へ相談

団体より必要手続きの案内

役場高齢あんしん課にて基本チェックリスト・補足票実施

※チェックリスト実施時、相談者は担当者に福祉有償運送を希望している旨をお伝えください

心身の状況により、要支援・要介護申請になる場合があります

総合事業対象者

要支援

要支援・要介護認定は審査会の判定が必要です

要介護

ここからは総合事業対象者となった方の利用の流れについて説明します

①被保険者証交付

②チェックリスト・補足票判定結果(写)交付

①と②を受けた後、ご自身で希望の団体に書面をもって結果を伝えてください

結果を受けた団体は、①と②及び「福祉有償運送にかかる移動困難申出書」を江差町地域公共交通活性化協議会へ提出してください

江差町地域公共交通活性化協議会にて確認

利用できる

利用できない

福祉有償運送利用の流れフロー図（改正後）

他人の介助によらず移動することが困難となり、一人でタクシー等の公共交通機関を利用できなくなった

実施団体や役場へ相談

- ①道路運送法施行規則第49条第2項における利用者区分が(イ)(二)だが、実施団体による判断が困難
- ②利用者区分が(ロ)(ハ)(ホ)(ヘ)(ト)であり、協議会等における確認が必要

道路運送法施行規則第49条第2項における利用者区分が(イ)(二)であり、実施団体により利用対象者と判断

利用できる

役場高齢あんしん課や居宅介護支援事業所、医療機関連携室などの専門職による
基本チェックリスト・補足票実施

※チェックリスト実施時、相談者は担当者に福祉有償運送を希望している旨をお伝えください
※心身の状況により、要支援・要介護申請になる場合があります。

基本チェックリスト該当者（総合事業対象者）

基本チェックリスト非該当者（総合事業非対象者）

利用できない（江差マース等の紹介）

- ①被保険者証交付
- ②チェックリスト・補足票判定結果(写)交付

①と②を受けた後、ご自身で希望の団体に書面をもって結果を伝えてください

結果を受けた団体は、①と②及び「福祉有償運送にかかる移動困難申出書」を江差町地域公共交通活性化協議会分科会（福祉部会）へ提出してください

江差町地域公共交通活性化協議会分科会（福祉部会）にて確認・決定

利用できる

基本チェックリスト(補足票) 説明者用(改正前)

令和 年 月 日

氏 名

○福祉有償運送旅客対象者にあたる方は「要介護者や身体障がい者等のうち他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な者」となっています。

このチェックリストは、対象者であることを確認するためのものですので、ご協力ください。

○実際の動作確認をする場合もありますので、ご協力ください。

○判定は、1点以上で該当となります。

○補足票において判断がつかない場合は、担当医の意見を求めることがあります。

※判定結果は、ご本人へお渡しします。その後団体へ提出してください。

No.	質 問 項 目	回 答 (いずれかに○を お付け下さい)		判 定
	○基本チェックリスト6・7・8のすべての項目が「いいえ」の場合であっても、他人の介助によらず移動することが困難であることの確認のため、それぞれの項目について追加質問を行います。			/3
6	階段を昇る際、手すりや壁をつたわり、なおかつ他者の介助や見守りを受けずに動作ができています。(玄関の上がり元等)	0.できる	1.できない	
7	立ち上がりの際、何かにつかまり、なおかつ他者の介助や見守りを受けずに動作ができています。	0.できる	1.できない	
8	普段ひとりで歩いてどこまで出かけるか。またそれはどのくらいの距離の確認。	()		
	○基本チェックリスト18・19・20の項目のうち、1/3以上のチェックがされた方に追加質問を行います。			
18 19 20	他者の指示を受けなくても、車の乗り降りができています。(車の乗り降りの際、動作の仕方がわからなく、認知機能の低下が著しいか確認)	0.できる	1.できない	

記載者

注1: 一人暮らしの方が申請しているケースが多いと思われるため、一人暮らしで適切な介助が受けれていないことも考慮し、判定する。

注2: 項目6・7の見守りとは、単に見ているだけでなく、「ふらつき」「体幹バランスが悪い」など、介助が必要な状況を想定して考察し、危険だと思われるかどうかで判断する。

注3: 聞き取りのみで判断がつかない場合は、実際に動作を行ってもらい、目視にて確認を行い判断する。

注4: 項目18・19・20は、認知症の症状を確認すべき項目であり、症状が原因で移動が困難であるか否かを判断する。

基本チェックリスト(補足票) 説明者用(改正後)

令和 年 月 日

氏 名

○福祉有償運送旅客対象者にあたる方は「要介護者や身体障がい者等のうち他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な者」となっています。

このチェックリストは、対象者であることを確認するためのものですので、ご協力ください。

○実際の動作確認をする場合もありますので、ご協力ください。

○判定は、1点以上で該当となります。

○補足票において判断がつかない場合は、担当医の意見を求めることがあります。

※判定結果は、ご本人へお渡しします。その後団体へ提出してください。

No.	質 問 項 目	回 答 (いずれかに○を お付け下さい)		判 定
	○基本チェックリスト6・7・8のすべての項目が「いいえ」の場合であっても、他人の介助によらず移動することが困難であることの確認のため、それぞれの項目について追加質問を行います。			/3
6	階段を昇る際、手すりや壁をつたわり、なおかつ他者の介助や見守りを受けずに動作ができています。(玄関の上がり元等)	0.できる	1.できない	
7	立ち上がりの際、何かにつかまり、なおかつ他者の介助や見守りを受けずに動作ができています。	0.できる	1.できない	
8	普段ひとりで歩いてどこまで出かけるか。またそれはどのくらいの距離の確認。	()		
	○基本チェックリスト18・19・20の項目のうち、1/3以上のチェックがされた方に追加質問を行います。			
18 19 20	他者の指示を受けなくても、車の乗り降りができている。(車の乗り降りの際、動作の仕方がわからなく、認知機能の低下が著しいか確認)	0.できる	1.できない	
その他	移動や日常生活における不安等があれば記載			

記載者

注1: 一人暮らしの方が申請しているケースが多いと思われるため、一人暮らしで適切な介助が受けれていないことも考慮し、判定する。

注2: 項目6・7の見守りとは、単に見ているだけでなく、「ふらつき」「体幹バランスが悪い」など、介助が必要な状況を想定して考察し、危険だと思われるかどうかで判断する。

注3: 聞き取りのみで判断がつかない場合は、実際に動作を行ってもらい、目視にて確認を行い判断する。

注4: 項目18・19・20は、認知症の症状を確認すべき項目であり、症状が原因で移動が困難であるか否かを判断する。

注5: その他は、事業の対象となるかどうかの判断材料として、特記事項があれば記載。

福祉有償運送にかかる移動困難申出書

年 月 日

江差町地域公共交通活性化協議会 宛

利用者	氏 名	住所
	生年月日	電話
(代筆者)	氏 名	電話
	代筆の理由	関係

下記のとおり、私は他人の介助によらず移動することが困難であり、かつ単独でバス・タクシー等の公共交通機関を利用することが困難であることを申し出ます。

なお、判定に際し必要があるときは、要支援認定等に係る調査内容、介護認定審査会資料、主治医意見書及び認定結果を使用することに同意いたします。

1. 道路運送法施行規則第 49 条第 2 項における該当区分 ()

2. 移動・コミュニケーション・日常生活の状況（あてはまるものにチェック）

移 動	<input type="checkbox"/> 介助がなければ歩けない <input type="checkbox"/> 歩行時にバランスを崩しやすい <input type="checkbox"/> 車両の乗り降りが困難 <input type="checkbox"/> 段差や路面の凸凹が分かりにくく転倒の危険がある <input type="checkbox"/> 用具を使用している（杖・車いす・その他（ ）） <input type="checkbox"/> バス停まで離れていて、バス停まで歩くのが困難 <input type="checkbox"/> 病院などの目的地までの路線が少ない、降りてから目的地までが遠い
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	<input type="checkbox"/> 会話のやり取りが困難 <input type="checkbox"/> 興奮しやすい <input type="checkbox"/> 自分の障がい等について他の人に伝えることが困難 <input type="checkbox"/> 障がい等により、公共交通での移動に不安がある
日常生活	<input type="checkbox"/> 介助なしで病院や店舗で料金支払いが困難 <input type="checkbox"/> 移動の際に介助者がいない <input type="checkbox"/> 買い物商品など重い荷物がもてない

3. 上記以外でバス・タクシー等の交通機関の利用が困難な状況（あれば記載）

--

4. 申請団体による確認

上記のとおり申出のあった内容については、事実と相違ありません。

年 月 日

住 所
団 体 名
代表者名

令和7年度事業計画及び当初予算について

◆令和7年度事業計画

時 期	項 目	備 考
通 年	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町地域公共交通計画に基づく庁内関係部署、交通事業者、関係自治体等との協議 ・江差マースをはじめとする各公共交通の利用促進にむけた各種取組、周知活動 	
4月1日	<u>令和7年度江差マース運行開始</u> <ul style="list-style-type: none"> ・運行日拡大、乗降地点拡大 	
5月～6月	<u>令和7年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「江差マース」運行実績報告 ・令和6年度事業報告及び収支決算・監査報告 ・江差町地域公共交通計画の令和6年度事業評価 ・地域内フィーダー系統計画認定申請に係る内容協議 など 	
7月～9月	<u>令和7年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会分科会（福祉部会）</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送事業利用申請状況の報告 ・福祉有償運送事業の維持・発展にむけた情報共有 など 	
10月～12月	<u>令和7年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「江差マース」運行実績報告 ・地域内フィーダー系統事業評価について ・分科会における協議結果等の報告 など 	
12月～2月	<u>令和7年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会分科会（福祉部会）</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送事業利用申請状況の報告 ・福祉有償運送事業の維持・発展にむけた情報共有 など 	
2月～3月	<u>令和7年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会分科会（専門部会）</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「江差マース」運行実績報告 ・「江差マース」次年度運行方針の協議 など 	
2月～3月	<u>令和7年度第3回江差町地域公共交通活性化協議会</u> の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「江差マース」運行実績報告 ・分科会における協議結果等の報告 ・「江差マース」次年度運行方針の協議 ・次年度の事業計画及び当初予算の提案 など 	

※ 上記内容については、年度当初時点での事業計画であるため、上記日程に関わらず、適宜、本協議会の開催（書面協議を含む）を検討し、実施内容等を諮ることとする。

◆令和7年度当初予算

【歳 入】

(単位：円)

款	項	目	前年度 当初予算	今年度 当初予算	差額	当初予算内容
1 負担金	1 負担金	1 負担金	3,875,000	24,087,000	20,212,000	江差町負担金 ※6年度補正後 19,044,000
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	0	0	
合 計			3,875,000	24,087,000	20,212,000	

【歳 出】

(単位：円)

款	項	目	前年度 当初予算	今年度 当初予算	差額	当初予算内容
1 運営費	1 会議費	1 会議費	185,000	50,000	▲135,000	事務局旅費
	2 事務費	1 事務費	80,000	40,000	▲40,000	郵送料、振込手数料 料 など
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,600,000	23,987,000	20,387,000	江差町地域公共 交通計画推進支援 業務委託費、江差 マース運行に係る 諸経費 など
3 予備費	1 予備費	1 予備費	10,000	10,000	0	
合 計			3,875,000	24,087,000	20,212,000	※6年度補正後 19,044,000

※ 江差町からの負担金については、令和7年第1回江差町議会定例会にて予算成立済み。

※ 会計年度の途中で、既定予算の補正等を行う必要が生じた場合には、適宜、予算を調製の上、本協議会での承認を受ける。

江差町の 地域公共交通



公共交通でお出かけ！



<お問い合わせ>

江差町まちづくり推進課
TEL 0139-52-6712

<2025 年版>

※2025 年 4 月 1 日時点の情報です。
実際の運行情報とは異なる可能性があります。

江差町の地域公共交通



● 江差町内を移動したい！… P3～P6 参照

江差マース が便利！

「江差マース」は、決まったルートや時刻表のない、予約型の公共交通です。予約状況から、そのつど最短のルートを選択し、江差町内を運行します。効率的で、無駄の少ない移動手段として、期待されている新しい公共交通です！

● 江差町内の拠点や周辺市町に行きたい！… P7～P8 参照

函館バス に乗ろう！

江差町内に乗り場のある函館バスは、4路線運行しています。

厚沢部町・北斗市・函館市に行きたい場合… 函館江差線

上ノ国町に行きたい場合… 小砂子線、江差木古内線

松前町に行きたい場合… 小砂子線

乙部町・八雲町に行きたい場合… 檜山海岸線

木古内町に行きたい場合… 江差木古内線



<バスの乗り方はこちら>

※ 本動画は、町の高齢あんしん課が事務局をもつ地域支え合い協議体が、函館バス協力のもと制作した、バスの乗り方ガイドです。

● 奥尻町に行ってみよう！… P9 参照

フェリー で行こう！

江差～奥尻島航路が運航しています。檜山管内を来訪する観光客が奥尻島まで移動する手段として重要な公共交通のひとつとなっています。

季節にもよりますが、約2時間10分ほどの船旅となります！

● その他の移動サービスを知りたい！… P10 参照

ハイヤー も便利！

江差町内には、ハイヤー事業者、福祉有償運送、乗合タクシーといった移動サービスも充実しています。また、スクールバスや割引助成といった町による事業も行っています！

江差マース

「江差マース」は、決まったルートや時刻表のない、予約型の公共交通です。予約状況から、そのつど最短のルートを選択し、江差町内を運行します。効率的で、無駄の少ない移動手段として、期待されている新しい公共交通です！

● 運行日・利用可能時間

毎週 **月～金** 曜日 / **9:00-17:00**

※土日祝日と年末年始（12月31日～1月5日）は運行しません

※13:00-13:30は運転手の休憩・交代時間確保のため運休します

● 運行エリア

江差町全域

※ご自宅および指定の乗降地点間を運行します

● 乗車料金 ※乗合とは1台の車両に2人以上の方が乗車している場合のことです

一般運賃 (大学生以上)	(乗合なし) 500円 / 人 (乗合あり) 300円 / 人
福祉割引運賃	一律 200円 / 人
学割運賃 (新設)	
こども運賃	
乳幼児運賃	無料 (保護者同伴のみ)

<福祉割引運賃>

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、介護保険被保険者証（要介護・要支援認定者に限る）、特定医療費（指定難病）受給者証のいずれかをお持ちの方

<学割運賃>

中学生、高校生で学生証をお持ちの方

<こども運賃>

小学生の方

<乳幼児運賃>

未就学児の方

※割引適用を希望される方は、運賃支払時に運転手へ証明書（各種手帳等）を掲示してください。

証明書をお持ちでない方は割引対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

● お支払い方法

現金

もしくは

EZOCA カード

（電子マネー・EZO ポイント）

※車内での電子マネーチャージはできません
事前チャージをお願いします

電子マネーでのお支払いや
LINE 予約等に応じて
特典ポイントをプレゼント！

● くわしい情報は

こちら



江差マース公式 HP
<https://esashi-maas.com/>

● 江差マースのご利用方法

1 事前登録（初回のみ）

以下のいずれかの方法で事前登録！

！ 注意事項

ご登録には、EZOCA カードが必要です
種類は問いません（江差 EZOCA など）

また、LINE アプリを使用する場合は、LINE アプリへの登録が必要です

簡単便利な江差マースを
ぜひご利用ください！



役場で登録する場合

申請書に必要事項を記入し、

**江差町役場
「まちづくり推進課」**

までご提出ください

※申請書は HP からダウンロードできるほか、
江差町役場もしくはコミュニティプラザえさし
（エコー）内でご入手いただけます。

2 配車予約



電話で予約する場合

0139-52-5335

お名前・希望日時・乗降地点・利用人数
をお伝えください

● 受付時間

8:45-16:30 （平日のみ）

※12:00-12:45 はオペレーターの休憩時間確保のため受付時間外とします

3 乗降地点へ（次ページ）

江差マースの車がお迎えに上がります。必ずご予約日の指定時間までに乗降地点（もしくはご自宅）にてお待ちください。ご本人様が不在の場合、自動的にキャンセル扱いとなります。



公式 LINE から登録する場合

江差マース公式 LINE アカウントから
利用者登録



- ①江差マース公式 LINE アカウントを開く（QR コードから友だち追加）
- ②トーク画面からメニューを開き、「配車予約」を押す
- ③ユーザー登録画面から必要事項を入力し、「次へ」ボタンを押す
- ④自宅位置を確認し「次へ」ボタンを押す（ずれている場合はピンを合わせて修正）
- ⑤入力情報を確認し「登録」ボタンを押して登録完了



公式 LINE で予約する場合

- ①江差マース公式 LINE アカウントのトーク画面からメニューを開き、「配車予約」を押す
- ②「バスを予約」を押し、「配車の予約」から必要事項を順番に選択
- ③予約内容を確認し、「仮予約する」ボタンを押して予約完了

※LINE は、曜日・時間問わず予約が可能です。

！ 注意事項

予約は、最大1週間後まで可能です。
また、予約完了から配車まで30分のお時間を
いただいておりますので、早めの予約をお勧め
します。なお、当日の運行状況により、ご
希望の時間に添えない場合がございますので、
あらかじめご承知おきください。

乗降地点一覧（ご自宅以外）			「ご自宅」および「95箇所乗降地点」間を運行します！		
買物・飲食・宿泊（EZOCA提携店）	1	サツドラ江差柳崎店	金融	48	小黒部簡易郵便局
	2	サツドラ江差店		49	農協江差支店
	3	太陽クリーニングふわっと柳崎店		50	江差水堀郵便局
	4	イエローグローブ江差店		51	江差尾山郵便局
	5	愛宕町商店街 わかさ商店前		52	江差愛宕郵便局
	6	太陽クリーニングドライセンター工場		53	江差郵便局
	7	伊勢谷時計店		54	江差茂尻郵便局
	8	万年屋書店		55	江差南浜簡易郵便局
	9	太陽クリーニングふわっと姥神店		56	北洋銀行江差支店
	10	ウロコイ辻薬店・山田屋菓子舗前		57	道南うみ街信用金庫本店
	11	レディスショップたじま		58	北海道江差高等学校
	12	法華寺通り商店街 お休み処寄来所前		59	五厘沢集会所
	13	フラワーショップうすき		60	鯨川寿の家
	14	あすなろ新地センター		61	朝日児童館
	15	太陽クリーニングドライセンター		62	朝日町民体育館
	16	レストラン津花館		63	小黒部寿の家
	17	室谷塗料店		64	中網老人憩いの家
	18	チャイニーズレストラン美華		65	越前寿の家
	19	ホテルニューえさし		66	水堀コミュニティセンター
買物・飲食・宿泊	20	フードセンターブンテン江差店	公共施設	67	柳崎児童館
	21	DCM 江差柳崎店		68	伏木戸寿の家
	22	ラルズマート江差店		69	田沢憩いの家
	23	ダイソー江差店		70	ぬくもり温泉保養センター
	24	ローソン江差柳崎店		71	泊生活館
	25	セイコーマート江差尾山店		72	大潤寿の家
	26	セイコーマート江差新地店		73	老人福祉センター
	27	セブンイレブン江差愛宕町店		74	あすなろ学園
	28	セブンイレブン江差茂尻町店		75	江差町会会館
医療機関・介護施設	29	養護老人ホームひのき	交通	76	江差町役場
	30	えさし荘		77	江差追分会館
	31	北海道立江差病院		78	開陽丸青少年センター
	32	サンセイつじ薬局・アイン薬局江差店前		79	ひやま漁業協同組合江差支所
	33	江差脳神経外科クリニック		80	江差地方合同庁舎
	34	江差調剤薬局		81	江差警察署前（対鷗館）
	35	カタセールえさし		82	家庭・簡易裁判所
	36	グループホームなごみ・あかり		83	江差町文化会館
	37	えさし鍼灸		84	コミュニティプラザえさし・エコー
	38	かもめ荘		85	緑丘福祉の家
	39	和み歯科		86	在宅型総合福祉施設まるやま
	40	岩坂歯科医院		87	陣屋ふれあいセンター
	41	道南勤労者医療協会江差診療所		88	檜山振興局
	42	あさひ薬局江差店		89	まなびつく
	43	佐々木病院		90	南が丘ふれあいセンター
	44	いにしえ調剤薬局		91	五勝手生活館
	45	渡辺鍼灸整骨院		92	柏町母と子の家
	46	江差整骨院		93	檜川担い手センター
	47	増永歯科医院		94	フェリー乗り場
				95	江差ターミナル



● 函館江差線（610 系統）

赤文字：土日祝運休

＜函館→江差＞	610 系統				
函館バスセンター	6：44	10：00	13：24	15：00	18：34
新函館北斗駅	7：52	11：08	14：32	16：08	19：42
江差病院前	8：57	12：13	15：37	17：13	20：47
新地町	9：11	12：27	15：51	17：27	21：01
江差ターミナル	9：20	12：36	16：00	17：36	21：10

＜江差→函館＞	610 系統				
江差ターミナル	6：10	7：55	11：05	15：12	18：46
新地町	6：19	8：04	11：14	15：21	18：55
江差病院前	6：32	8：17	11：27	15：34	19：08
新函館北斗駅	7：39	9：24	12：34	16：41	20：15
函館バスセンター	8：48	10：33	13：43	17：50	21：24

＜くわしい時刻表はこちら＞

北海道江差町の
観光情報ポータルサイト



＜運賃＞

江差ターミナル⇄函館市内 2,500 円（片道）
江差ターミナル⇄新函館北斗駅 2,000 円（片道）

● 檜山海岸線（624 系統）

赤文字：日祝運休

＜熊石→江差＞	624 系統					
熊石	7：00	9：00	10：13	14：05	17：25	19：13
乙部	7：55	9：55	11：08	15：00	18：20	20：08
江差高校入口	8：09	10：06	11：19	15：11	18：31	20：19
江差病院前	8：10	10：07	11：20	15：12	18：32	20：20
新地町	8：24	10：21	11：34	15：26	18：46	20：34
江差ターミナル	8：32	10：29	11：42	15：34	18：54	20：42

＜江差→熊石＞	624 系統					
江差ターミナル	5：25	7：22	8：38	12：00	15：47	17：35
新地町	5：33	7：30	8：46	12：08	15：55	17：43
江差病院前	5：48	7：45	9：01	12：23	16：10	17：58
江差高校入口	5：49	7：49	9：02	12：24	16：14	18：02
乙部	6：00	8：00	9：13	12：35	16：25	18：13
熊石	6：50	8：50	10：03	13：25	17：15	19：03

＜くわしい時刻表はこちら＞

北海道江差町の
観光情報ポータルサイト



＜運賃＞

江差ターミナル⇄熊石 1,550 円（片道）
江差ターミナル⇄乙部 1,790 円（片道）

● 江差小砂子線（621 系統・622 系統）

＜原口・小砂子→江差＞	622 系統		621 系統		
原口漁港前			11：44	14：36	17：27
小砂子	6：46	9：21	11：54	14：46	17：37
大留	7：31	10：06	12：39	15：31	18：22
江差ターミナル	7：40	10：15	12：48	15：40	18：31

＜江差→原口・小砂子＞	621 系統			622 系統
江差ターミナル	10：30	13：22	16：13	18：40
大留	10：39	13：31	16：22	18：49
小砂子	11：24	14：16	17：07	19：34
原口漁港前	11：34	14：26	17：17	

＜くわしい時刻表はこちら＞

北海道江差町の
観光情報ポータルサイト



＜運賃＞

江差ターミナル⇄原口漁港前 1,500 円（片道）
江差ターミナル⇄小砂子 1,350 円（片道）

● 江差木古内線（631 系統・632 系統・633 系統・634 系統）

赤文字：土日祝運休

＜木古内→江差＞	634 系統	631 系統	632 系統	631 系統		634 系統
木古内駅前		6：19	9：16	11：27	15：05	16：50 18：12
大留		7：32	10：29	12：40	16：18	18：03 19：25
江差ターミナル	6：43	7：42	10：39	12：50	16：28	18：13 19：35
新地町	6：52	7：51	10：48	12：59	16：37	18：22
開陽丸記念館前	↓	↓	10：52	↓	↓	↓
江差病院前	7：05	8：04	11：08	13：16	16：54	18：39
江差高校前		8：08		13：20		

＜江差→木古内＞	634 系統	631 系統		632 系統	633 系統	631 系統	
江差高校前				12：18	13：35	15：45	18：13
江差病院前		7：10	10：40	12：20	13：37	15：47	18：15
開陽丸記念館前		↓	↓	12：32	↓	↓	↓
新地町		7：23	10：53	12：36	13：50	16：00	18：28
江差ターミナル	6：28	7：33	11：03	12：46	14：00	16：10	18：38
大留	6：37	7：42	11：12	12：55		16：19	18：47
木古内駅前	7：55	9：00	12：30	14：13		17：37	20：05

＜くわしい時刻表はこちら＞

北海道江差町の
観光情報ポータルサイト



＜運賃＞

江差病院前⇄木古内駅前 2,000 円（片道）
江差ターミナル⇄木古内駅前 1,700 円（片道）

フェリー

オクシリア일랜드フェリー株式会社により、江差～奥尻島航路が運航しています。檜山管内を来訪する観光客が奥尻島まで移動する手段として重要な公共交通のひとつとなっています。

● オクシリア일랜드フェリー時刻表（2025 年）

期間	江差発～奥尻着	奥尻発～江差着
1/1 ～ 3/31	13:00-15:20	8:15-10:35
4/1 ～ 4/28	13:00-15:10	7:00-9:10
4/27 ～ 5/8	9:40-11:50	7:00-9:10
	17:40-19:50	15:00-17:10
5/9 ～ 6/30	13:00-15:10	7:00-9:10
7/1 ～ 8/31	9:40-11:50	7:00-9:10
	17:40-19:50	15:00-17:10
9/1 ～ 11/30	13:00-15:10	7:00-9:10
12/1 ～ 12/31	13:00-15:20	7:30-9:50

● くわしい情報はこちら



Heart Land Ferry 公式 HP
<https://heartlandferry.jp/>



その他の公共交通・町の取り組み

● ハイヤー事業

有限会社桧山ハイヤー（車両台数 5 台）＜ご予約・お問い合わせ＞ ☎ 0139-52-1178

● 福祉有償運送 ＜お問い合わせ＞ 江差町高齢あんしん課（☎ 0139 - 52 - 6726）

道路運送法施行規則第 49 条第 2 項に規定される、身体障がい者や要介護認定を受けている方のうち、他人の介助なしでは移動することが困難であり、かつ単独でバス・タクシー等の公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、4 事業者で運行しています。

事業者名	江差町	江差町社会福祉協議会	社会医療法人 道南勤労者医療協会	NPO 法人 南桧山在宅福祉支援ゆい
車両数	兼用車 1 台	車いす車 2 台 / 兼用車 2 台 / セダン等 6 台	車いす車 1 台 / セダン等 1 台	セダン等 7 台

● 福祉バス（40 人乗り 1 台、29 人乗り 1 台）

＜お問い合わせ＞
 江差町高齢あんしん課（☎ 0139 - 52 - 6726）

老人クラブや町内会、研修などのコミュニティ活動支援の一環として運行しています。
 使用日の 10 日前までに申請書をご提出ください。

● 生涯学習バス

＜お問い合わせ＞
 江差町社会教育課（☎ 0139 - 52 - 1047）

町民の社会教育および学校教育活動に関する移動支援として運行しています。

● 北部乗合タクシー ＜お問い合わせ＞ 江差町まちづくり推進課（☎ 0139 - 52 - 6712）

廃線になった館線、稲見線、木間線の代替交通として 運行しています。 ＜北部乗合タクシーのくわしい情報はこちら＞

対象： 鯉川町、朝日町、小黒部町、中網町、越前町
 にお住まいの方
 範囲： 自宅・江差高校・江差病院の間



江差町公式 HP

● スクールバス ＜お問い合わせ＞ 江差町学校教育課（☎ 0139 - 52 - 1059）

小中学校が統廃合となった旧朝日小中学校区および旧日明小中学校区にお住まいの児童・生徒の通学手段として、町立江差北小学校および町立江差北中学校まで運行しています。
 路線数： 2 路線（旧朝日小中学校区 1 路線 / 旧日明小中学校区 1 路線）
 運行台数： 大型バス 2 台

● 高齢者交通費助成 / 福祉タクシー助成

＜お問い合わせ＞ 高齢者交通費助成 / 江差町高齢あんしん課（☎ 0139 - 52 - 6726）
 福祉タクシー助成 / 江差町町民福祉課（☎ 0139 - 52 - 6720）

高齢者の方や障がいのある方を対象に助成を行っています。

高齢者交通費助成： 65 歳以上の高齢者等を対象とした町内バス利用への運賃半額助成券の交付
 福祉タクシー助成： 身体障がいのある方などへのタクシー券の交付

● 高齢者等外出支援サービス

＜お問い合わせ＞ 江差町高齢あんしん課（☎ 0139 - 52 - 6726）

外出が困難な町民の方を移送車両の機能訓練車にて送迎し、自立した日常生活を支援します。